CHINO

DIN レール取付形 コミュニケーション・コントローラ SC7D



目次

	:じめに	1
2. 安	 全にご使用いただくために	3
2 _ 1	. ご使用の前提条件	2
	シンボルマーク	
	. 表示ラベル	
	· スパン・バー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	・	
ろ. 恢	,要	
	. 概 要	
	. システム構成	
3 – 3	. 形式コード	6
	. 動作概要	
	4-1. 定常リード	
	4-2. トリガによる変更	
	4-3. シンプル R/W	
3 —	4-4. プログラム調節計のプログラムパターン変更と読出し	7
4. 特	長	8
5. 各	部の名称	9
6. 仕	· 横	10
	6D. / L + + +	40
	. 一般仕様	10
		40
	. 通信仕様	
	. 外形寸法	12
	· -	12
6 – 4	. 外形寸法	12
6-4 7. 取	・ 外形寸法	12 12 14
6-4 7. 取 7-1	・ 外形寸法	12 14 14
6-4 7. 取 7-1 7-2	・ 外形寸法	1212141415
6-4 7. 取 7-1 7-2 7-3	・外形寸法 ・SC7 が占有するレジスタ ・ 付 ・設置条件 ・SC7 の取付方法 ・SC7 の取外し方法	121415
6-4 7. 取 7-1 7-2	・外形寸法 SC7 が占有するレジスタ ・付 設置条件 ・SC7 の取付方法 SC7 の取外し方法	121415
6-4 7. 取 7-1 7-2 7-3 8. 結	・外形寸法 ・SC7 が占有するレジスタ ・ 付 ・設置条件 ・SC7 の取付方法 ・SC7 の取外し方法	
6-4 7. 取 7-1 7-2 7-3 8. 結 8-1	外形寸法	
7. 取 7-1 7-2 7-3 8. 結 8-1 8-2	 外形寸法 SC7 が占有するレジスタ 付 設置条件 SC7 の取付方法 SC7 の取外し方法 線 端子構成 結線上のご注意 	
7. 取 7-1 7-2 7-3 8. 結 8-1 8-2 8-3	外形寸法SC7 が占有するレジスタ付設置条件SC7 の取付方法SC7 の取外し方法線端子構成	
7. 取 7-1 7-2 7-3 8. 結 8-1 8-2 8-3 8-4	 外形寸法	
7. 取 7-1 7-2 7-3 8. 結 8-1 8-2 8-3 8-4 9. SO	 外形寸法 SC7 が占有するレジスタ 付 設置条件 SC7 の取付方法 SC7 の取外し方法 線 端子構成 結線上のご注意 チノーMODBUS 機器との接続 PLC との接続 C7 の設定	
7.取 7-1 7-2 7-3 8.結 8-1 8-2 8-3 8-4 9.S0 9-1	 外形寸法 SC7 が占有するレジスタ 付 設置条件 SC7 の取付方法 SC7 の取外し方法 総 端子構成 結線上のご注意 チノーMODBUS 機器との接続 PLC との接続 7 の設定 初期設定 	
7. 取 7-1 7-2 7-3 8. 結 8-1 8-2 8-3 8-4 9. St 9-1	 外形寸法 SC7 が占有するレジスタ 付 設置条件 SC7 の取付方法 SC7 の取外し方法 線 端子構成 結線上のご注意 チノーMODBUS 機器との接続 PLC との接続 C7 の設定	

9	– 2.	2. 前面キー操作設定	24
9	— З.	3. 文字表示一覧	25
9	– 4 .	↓ 前面表示	26
4	Λ :	手順と操作説明	27
1	0 —	- 1.設定の基本と概要	27
	10-) - 1 - 1. 定常リード概要	27
	10-) - 1 - 2. トリガ操作概要	28
	10-	9-1-3.通信速度の設定	29
	10-	9-1-4.初期化方法	29
1	0-1	- 2.通常モード	30
	10-	9-2-1.通常モードの運用手順	30
	10-) -2-2.通常モードのトリガ設定と運用	30
1	0 -	- 3. シンプル R/W モード	40
	10-)-3-1. シンプル R/W モードの運用手順	40
	10-)−3−2.シンプル R/W 概要	41
	10-)-3-3. シンプル R/W モードの初期設定とトリガの運用	42
1	0 —	- 4. 互換モード	46
	10-)-4-1.互換モードの運用手順	46
	10-) -4-2.互換モードのトリガ設定と運用	46
1	0 —	- 5. トリガ操作	49
) - 5 - 1. トリガ操作	
	10-) -5-2.プロコントリガ概要	51
	10-) -5-3.プロコンパターントリガの設定と運用	51
1		- 6. 詳細設定	
	10-) - 6 - 1. 通信エラー内容詳細	55
	10-) ー 6 ー 2 . トリガ以外の占有データ	57
, ,	A =	1	
ग	球	k	58
尓	1.	トリガテーブル表(通常モード)	58
尓	2.	トリガテーブル表(シンプル R/W モード)	62
作	3.	トリガテーブル表(互換モード)	66
作	4.	プロコンパターン表(KP)	69
作	5.	プロコンパターン表(DP-G)	77
尓	6.	プロコンパターン表(DB600)	83

1. はじめに

このたびは、DIN レール取付形コミュニケーション・コントローラ SC7 をお買い上げいただきありがとう ございます。

本器を充分にご理解いただき、かつトラブルなどを未然に防ぐためにも、本取扱説明書を必ず事前にお読み下さい。

お願い

- 計装業者・設置業者・販売業者の方へ -

本取扱説明書は、本器をお使いになる方へ、確実にお渡し下さい。

- 本器をお使いになる方へ -

本取扱説明書は、本器を破棄するまで、大切に保管して下さい。また、設定内容は必ず記録し、保管して下さい。

製品の保証範囲

本器の保証期間は、お買い上げ後1年間です。保証期間中に取扱説明書、製品貼付ラベル・マーキング等の注意を遵守した正常な使用状態で、本器が故障した場合には無償修理致します(日本国内に限る)。その場合、お手数ですが、ご購入先、もしくは最寄の弊社営業所までご連絡下さい。 但し、下記に該当する場合は、保証期間中でも有償修理になります。

- 1. 誤使用、誤接続、不当な修理や改造による故障及び損害
- 2. 火災・地震・風水害・落雷・その他の天変地異、公害・塩害・有害性ガス害、異常電圧や指定外の電源使用による故障及び損害
- 3. 寿命部品や付属品の交換

なお、ここでいう保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社は、当社製品の故障により誘発されるお客様の損害につきましては、損害の如何を問わず一切の賠償責任を負わないものとします。

お断わり

- 1. 本書の全部、または一部を無断で複写、または転載することを禁じます。
- 2. 本書の記載内容は、お断りなく変更する場合があります。
- 3. 本書の内容については、万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や誤り、記載もれなどがありましたら、最寄の弊社営業所までご連絡下さい。
- 4. 運用した結果につきましては、いかなる場合でも責任を負いかねますので、ご了承下さい。

■ご使用前の確認

本器を開封後、必ず、ご使用前に以下のことをご確認下さい。万一、ご不審な点などがございましたら、ご購入先、もしくは最寄の弊社営業所までご連絡下さい。

1. 外観の確認

外観上、製品に破損などがないことをご確認下さい。

2. 形式コードの確認

お買い上げいただいた製品の形式コードに間違いがないことをご確認下さい。

◆形式コード銘板と貼付場所 下記のような銘板が製品ケースの上面に貼付されています。

> SC7D1-100 SC7000000000 MADE IN JAPAN

←形式コード ←製造番号

3. 付属品の確認

製品には、下記の付属品が付属されていますので、ご確認下さい。

品 名	数量	備考
SC7 用 CD-R	1枚	設定ソフト、取扱説明書、ドライバ
取扱説明書(ダイジェスト編)	1 枚	A3 両面
プラグイン端子台	1個	

お願い ----

- 1. 梱包箱から本器を取り出す際、製品を落とさないようにご注意下さい。
- 2. 本器を輸送する際、本器用梱包箱に入れ、さらにクッションを敷き詰めた外箱に入れて輸送して下さい。

そのような場合を考え本器用梱包箱は保管されることをお勧めします。

3. 本器を最終製品 (パネル) から外した状態で長期間使用しない場合、本器用梱包箱に入れ、周囲 温度が常温でほこりなどが少ない場所で保管して下さい。

2. 安全にご使用いただくために

本器を安全にご使用いただくために、下記の注意事項をお読みいただき、ご理解下さい。

2-1. ご使用の前提条件

本器は、屋内の計装用パネルに取付けてお使いになるコンポーネントタイプの一般製品です。それ以外の 条件では使用しないで下さい。

ご使用の際は、最終製品側でフェールセーフ設計や定期点検などを行い、システムの安全性を施した上で ご使用下さい。

通信インターフェイスにおいては、機器間のタイミング・ノイズの影響等によりある確率で通信エラーが 生じる事は避けられません。

お客様の機械・装置においては、通信エラー発生時のリトライ処理・フェールセーフ設計・安全設計などを実施して下さい。

また、本器は PLC と機器を接続して使われますが、PLC と機器について充分な知識を保有しているエンジニアを対象に説明しています。PLC と機器の取扱いについては、それぞれの説明書を参照の上、本書をお読み下さい。

2-2. シンボルマーク

本取扱説明書に下記のシンボルマークがございますので、それらの意味について、充分にご理解下さい。

シンボルマーク	意味		
 警告	使用者が死亡、または重傷を招く恐れがある場合に、その恐れを避けるための 注意事項を説明しています。		
注 意	使用者が軽傷を招くか、本器、または周辺機器が損傷する恐れがある場合に、 その恐れを避けるための注意事項を説明しています。		

2-3. 表示ラベル

本器を安全にお使いいただくため、次の表示ラベルを使用しています。

表示ラベル	「名称」と場所	意味
\triangle	「アラートシンボルマーク」 各種端子部(裏面)	「感電」や「けが」などの恐れがある取扱注 意箇所です。
100~240V AC 50∕60Hz、5VA	「供給電源仕様」	本器の使用電源(電圧範囲、周波数、消費電
24V AC / DC 50 / 60Hz、5VA / 4W	電源端子部	力)仕様です。

2-4. 廃 棄



- ①本器には、構成する部品において、RoHS 指令で定められた規定量以下の微量な有害化学物質が含まれています。
- ②本器を廃棄する際は、必ず、専門業者へ廃棄を依頼して下さい。 または、各地方自治体の定める方法に従って廃棄して下さい。
- ③本器を梱包していた箱やビニール袋、緩衝材、シールなどは、各地方自治体の 定めるゴミ収集方法に応じて分別し、リサイクル等にご協力下さい。

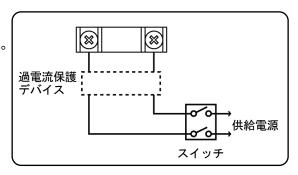
2-5. 重要な説明



重大な事故防止のため、必ず、本内容をお読みいただき、ご理解下さい。

1. スイッチと過電流保護デバイス

本器には交換できる過電流保護デバイスがありません。本器に供給する電源には、スイッチと過電流保護デバイス(ブレーカ、サーキットプロテクタなど)を 3m 以内の手の届きやすい所に設けて下さい。上記切断装は、IEC60947-1、IEC60947-3 に適合するものを使用して下さい。



2. 初めて電源を入れる前に

安全のため、供給電源が電源ラベルに表示してある範囲内であることを確かめてから、外部の電源スイッチを ON にして下さい。

3. 修理や改造は行わないで下さい

当社の認定したサービス員以外は、部品交換による修理や改造は行わないで下さい。本器の損傷や正しい機能が発揮できないだけでなく、感電事故などの危険が生じる場合があります。なお、通常のご使用では内器を引出す必要は、ありません。

4. 説明書に従ったご使用を

本器を正しく安全にご使用していただくため、本取扱説明書に従ってご使用下さい。誤使用により生じた障害や損害などいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

5. ご不審な場合は供給電源を止めて下さい

異臭や異音、煙などが出ていたり、手を触れられないほど高温になっている場合、危険ですので供給電源を OFF にし、当社の支店・営業所に連絡して下さい。

3. 概 要

3-1. 概 要

コミュニケーション・コントローラ SC7 はチノー機器(記録計、調節計、サイリスタレギュレータ、等)を PLC にプログラム構築することなく簡単に接続できる通信変換器です。

SC7 は次の3つのモードを用意しており、目的に応じて使い分けることが可能です。 各動作モードは初期設定時に選択します。

動作モード	概 要
通常モード	必要最小限の定常リードパラメータとビット単位の読出トリガ、書込
	トリガで構成され、最も効率良く通信を行います。
	また、プログラム調節計のプログラムパターンの専用読出/書込機能
	を搭載しています。
シンプル R/W	定常リードは通常モードと変わりませんが、読出トリガ、書込トリガ
モード	が通常モードと異なります。トリガ設定の殆どは初期設定時に行い、
	読出トリガについてはトリガ操作のみ、書込トリガについてはレジス
	タの値を変更するのみで変更書込みが可能となります。
	機器台数に依存することなく、合計で読出し 200 データ、書込み 200
	データの設定が可能です。
	但し、レジスタを常に監視するため、通常モードに比べると通信効率
	は劣ります。
	プログラムパターンの読出/書込機能は通常モードと同様に搭載し
	ています。
互換モード	旧形の SC7 から更新の際、ラダープログラムの変更なく更新が可能
	です。
	互換のみを考慮したモードのため、旧形と同一パラメータによる定常
	リードと同一プログラムで操作が行える書込トリガのみの構成とな
	ります。
	プログラムパターンの読出/書込機能は搭載していません。

3-2. システム構成



3-3. 形式コード



3-4. 動作概要

3-4-1. 定常リード

機器データの読出しは、本体に標準添付されている「SC7 CONFIG TOOL」により手順に従って初期 設定するだけで、常時読出しを行います。

またデータ通信入力に対応した記録計では、定常ライトによりレジスタのデータ記録が可能です。



3-4-2. トリガによる変更

機器パラメータの変更は PLC のレジスタに変更したい値をセットして、トリガにあたるレジスタのビットを 1 にすると変更できます。



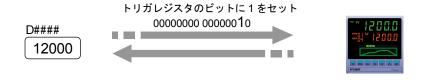
同様にして読出し専用のトリガレジスタのビットに1をセットすれば、パラメータの読出しが可能です。

3-4-3. シンプル R/W

機器パラメータの変更は、PLC のレジスタにセットする値を変更すると、そのタイミングでセットした値を機器に書込みます。



機器パラメータの読出しは、トリガにあたるレジスタのビットを1にすると読出しますし、初期設定で常時読出設定を行えば、トリガ操作に関係なく、サンプリング毎に読出します。



3-4-4. プログラム調節計のプログラムパターン変更と読出し

またプログラム調節計(KP、DP-G)についてはパターントリガ機能(読出し/書込み)を用意しており、パターンデータを簡単、瞬時に読出し/変更が可能です。



4. 特 長

●PLC とチノーMODBUS 機器をプログラムレスで通信接続

チノーMODBUS 機器と PLC を通信接続するためのプログラム設計は一切必要ありません。PLC 内部レジスタのリード/ライトのみで、機器とデータのやりとりができます。

●チノー製機器を最大 31 台接続

チノー製機器との通信には RS-485 を使用しており、1 台の SC7 で最大 31 台の機器を PLC に接続できます。

●初期設定ソフトを付属

接続する機器の選択とレジスタの指定は、標準付属の初期設定ソフト「SC7 CONFIG TOOL」を使用します。手順に従った操作で、マニュアルレスな設定が可能です。

また設定内容は、パソコンへ保存、読出し、エクセルへの出力が可能であり、メンテナンス性にも優れています。

また SC7 本体から設定を読出すことが可能です。(本体 Ver.2.00 以降)

●初期設定用 USB ケーブル付属(形式による)

初期設定は専用 USB ケーブルを本体前面ポートに接続するか、RS-232C 端子をパソコンと接続するかのいずれかの方法で行います。

専用 USB ケーブルを使用すれば、USB より電源供給するため SC7D 本体への電源供給は不要となり、運用面に優れます。

●シンプル R/W モード、互換モードを用意

通信効率を最優先とした通常モードの他、レジスタにセットする値の変化を検知して自動で機器の設定を更新するシンプル R/W モード、旧型の SC7 を使用していた PLC 環境に置換えが可能な互換モードを初期設定にて選択可能です。

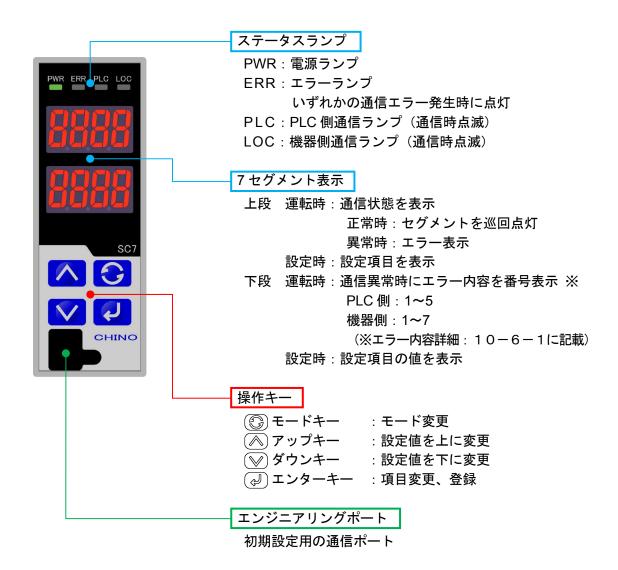
●プロコン_※トリガ機能による簡単パターン読出し/設定

プログラム調節計 KP シリーズ、DP-G シリーズのプログラムパターンをトリガ操作のみで簡単にすばやく読出すことができ、また設定変更もできます。

内部 RAM エリアを専用命令により直接アクセスしますので、操作は簡単かつ PLC やタッチパネルで構築するより、段違いの速さで確実な設定が行えます。

※プロコン=プログラム調節計

5. 各部の名称



6. 仕 様

6-1. 一般仕様

電 源 電 圧:一般電源仕様 AC100~240V AC±10%

24V 電源仕様 24V AC±10%/24V DC±10%

絶 縁 抵 抗:1次側電源端子-2次側通信端子間

500V DC 20MΩ以上

耐 電 圧:1次側電源端子-2次側通信端子間

1500V AC 1 分間

温 度 範 囲:-10~50℃(正常動作条件)

最大消費電力:一般電源仕様 100V AC 2.5VA

240V AC 5.0VA

24V 電源仕様 24V DC 1.2W

24V AC 1.8VA

取 付 方 法: DIN レール取付

質 量:最大 190g (ソケット含む)

6-2. 通信仕様

PLC 側通信仕様

通信種類: RS-232C

通信速度:9600bps/19200bps/38400bps

三菱電機 PLC(Q シリーズ/L シリーズ/FX3 シリーズ)

プロトコル:形式 4 キャラクタ:8N1

オムロン PLC (CJ シリーズ/CS シリーズ/CP シリーズ)

プロトコル:上位リンク

キャラクタ: 7E2

キーエンス PLC(KV3000 シリーズ/KV5000 シリーズ)

プロトコル:上位リンク

キャラクタ:8E1

機器側通信仕様

通信種類: RS-422A/RS-485 プロトコル: MODBUS-RTU

通信速度:9600bps/19200bps/38400bps

キャラクタ:8N1

接続台数:最大31台

接続機種:記録計…KR2000、KR3000、AL3000、AH3000、LE5100、LE5200、LE5300

AL4000、AH4000、KL4000、KH4000、KR2S

スキャナ・ロガー…SE3000、KE3000

調節計…DB1000B、DB2000、KP1000C、KP2000、KP3000C、DP1000G、DP2000G、DP3000G、DZ1000、DZ2000、

LT230, LT300, LT400, LT830, GT120, DB630, DB650, DB670

サイリスタレギュレータ…JU、JW

エンジニアリング通信仕様(初期設定用ポート)

通信種類: RS-232C (PLC 通信ポートと共通)

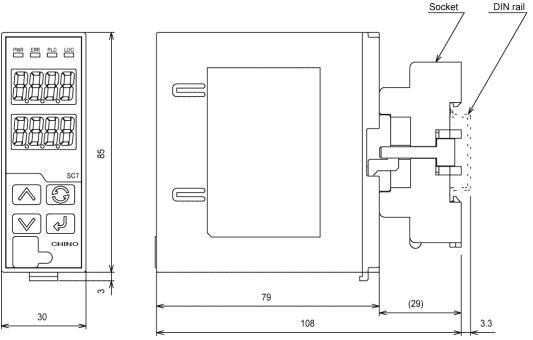
プロトコル:専用プロトコル(ASCII)

通信速度: 19200bps (固定)

キャラクタ:7E1

ケーブル: 専用初期設定ケーブル (PC 側は USB)

6-3. 外形寸法



単位:mm

6-4. SC7 が占有するレジスタ

占有データ2先頭アドレスをD200に設定した場合



占有レジスタ詳細

機能	レジスタ	山穴
1茂 門已		内容
	D200	書込トリガレ(機器アドレス 1~15)
	D201	書込トリガH (機器アドレス 1 6 ~ 3 1)
	D202	読出トリガL (機器アドレス 1~15)
	D203	読出トリガH(機器アドレス16~31)
	D204	書込トリガレ(機器アドレス 1~15) ※プログラム調節計でのみ
	D205	書込トリガH (機器アドレス16~31) 使用するトリガ
1 11 45	D206	読出トリガレ (機器アドレス 1~15) (調節計を使用しない場合
トリガ	D207	読出トリガH (機器アドレス16~31) でも占有)
操作	D208-209	空き(未使用)※2ワード
	D210	書込完了L (機器アドレス 1~15)
	D211	書込完了H (機器アドレス 1 6 ~ 3 1)
	D212	読出完了L (機器アドレス 1~15)
	D213	読出完了H (機器アドレス 1 6 ~ 3 1)
	DETO	
	D214-219	空き(未使用)※6ワード
	D220	機器アドレス 1【書込】リファレンス番号
	D221	機器アドレス 1【書込】個数
	D222	機器アドレス 1【書込】データ相対アドレス
	D223	機器アドレス 2【書込】リファレンス番号
	D224	機器アドレス 2【書込】個数
	D225	機器アドレス 2【書込】データ相対アドレス
	D226-309	(省略)
	D310	機器アドレス31【書込】リファレンス番号
	D311	機器アドレス31【書込】個数
トリガ	D312	機器アドレス31【書込】データ相対アドレス
テーブル	D313-319	空き(未使用)※7ワード
	D320	機器アドレス 1【読出】リファレンス番号
	D321	機器アドレス 1 【読出】個数
	D322	機器アドレス 1【読出】データ相対アドレス
	D323	機器アドレス 2【読出】リファレンス番号
	D324	機器アドレス 2【読出】個数
	D325	機器アドレス 2 【読出】データ相対アドレス
	D326-409	(省略)
	D410	機器アドレス31【読出】リファレンス番号
	D411	機器アドレス31【読出】個数
	D412	機器アドレス31【読出】データ相対アドレス
	•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

[※]トリガ操作 D200~D213 は必ず占有されます。

[※]トリガテーブル D214~D412 は、トリガを使用しない場合には占有されません。

7. 取 付

7-1. 設置条件



事故防止のため、必ず、本内容をお読みいただき、ご理解下さい。

工業環境

電界や磁界の発生源から離し、機械的振動・衝撃のない所を選んで下さい。

●過電圧カテゴリ・・・・・ II (EN 規格) ●高度 ・・・・・・・・・・・・・ 2000m 以下

●汚染度······ 2 (EN 規格) ●使用場所 ····· 室内

周囲の温度・湿度

直射日光を避け、湿度の上昇を防ぐため、SC7の周辺は密閉しないで下さい。

●周囲温度は 23°C前後で、湿度は 50%RH 付近で安定している所。

●測定誤差を小さくするため、端子の近くに熱源がなく、風の当たらない所。

雰囲気

- ●安全のため、腐食性ガス(硫化ガスなど)、引火性ガスのある所は避けて下さい。
- ●ほこりや煙、蒸気などがある所は避けて下さい。
- ●冠水、被油のある所は避けて下さい。

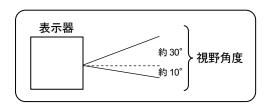
取付角度

●左右の傾き…… 0~10°

●前後の傾き·····前傾:0° 後傾:0~20°

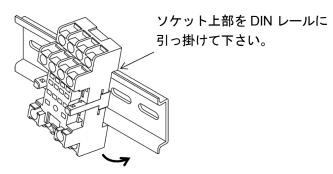
●視野角度····· 水平を基準に-10~+30°

上記以外は動作に影響を与えます。

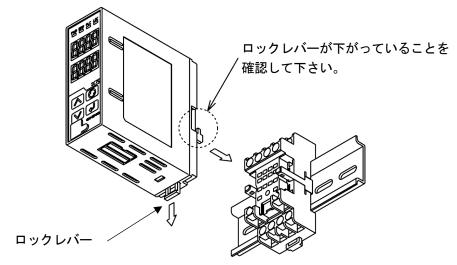


7-2. SC7 の取付方法

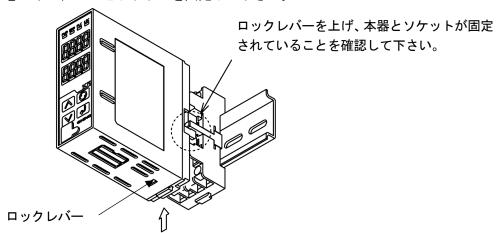
①ソケット上部を DIN レールに引っ掛け、取付けて下さい(カチッと音がします)。



②ロックレバーを下げてから、SC7をソケットに挿し込んで下さい。

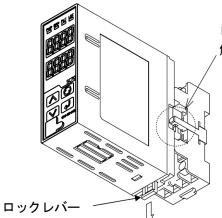


③ロックレバーを上げて、SC7 とソケットを固定して下さい。



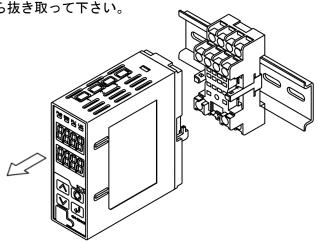
7-3. SC7 の取外し方法

- ①SC7 の供給電源を切って下さい。
- ②ロックレバーを下げて、SC7とソケットを解除して下さい。

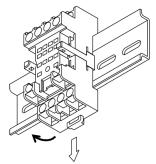


ロックレバーを下げ、本器とソケットが 解除されていることを確認して下さい。

③SC7 をソケットから抜き取って下さい。

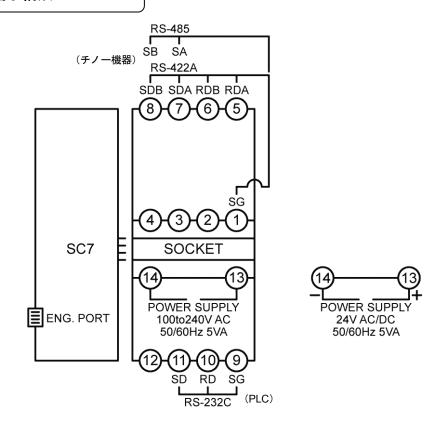


④ソケット下部のロックレバーを下げながら、DIN レールから外して下さい。



8. 結 線

8-1. 端子構成



8-2. 結線上のご注意

結線する前にご注意いただく点を示します。安全性・信頼性を保つためにお守り下さい。

1. 供給元の電源

本器へ供給する電源は、誤動作を防ぐため波形にひずみがなく、電圧の安定した単相電源をお使い下さい。



①スイッチと過電流保護デバイス

結線時の感電防止のため、供給元の電源には、スイッチと過電流保護デバイス(3A)を付加して下さい。本器には、交換できるヒューズがありません。

②供給元の電源をOFFで結線

電源や入出力結線を行う時は、感電防止のため供給元の電源は、必ずOFFにして下さい。

2. 強電回路から離す

入出力の結線は、動力線などの強電回路と近接や並行することを避けて下さい。近接や並行する場合は 50cm 以上離して下さい。

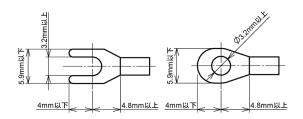
3. ノイズ源から遠ざける

ノイズの発生源からは、できるだけ遠ざけて下さい。思わぬ故障になる場合があります。ノイズ源から遠ざけられない場合は対策を施して下さい。

主な発生源	対 策
・電磁開閉器など	
・波形歪みのある電源ライン	電源端子間にノイズフィルタを挿入します。
・インバータ	CR フィルタが多く用いられます。
・サイリスタレギュレータ	

4. 圧着端子を使用

- ①端子台への接続は、M3 のねじに適用する絶縁スリーブ付圧着端子を使用して下さい。
- ②圧着端子は、感電防止のため絶縁スリーブ付をご使用下さい。
- ③締付けトルクは 0.63N·m を指定して下さい。



5. 未使用端子

未使用端子は中継用に使わないで下さい。電気回路を損傷する恐れがあります。

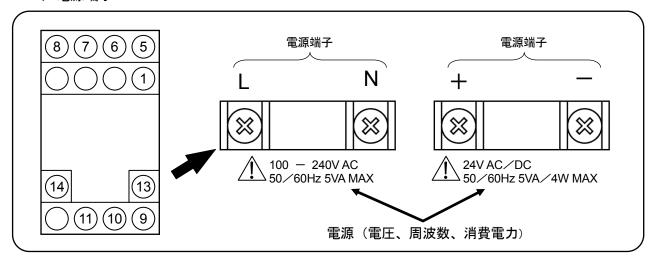


■結線したコードの処置は適切に

結線したコードは、人や物に引っかからないよう、確実に処置して下さい。 コードに引っかけて結線が外れたり切れたりすると、感電事故につながります。

6. 電源端子の結線

1) 電源端子



♠警告

■供給元の電源をOFFにする

電源の結線の前に、感電防止のため供給元の電源は必ずOFFにして下さい。

2) 電源端子の結線

電源線は 600V ビニル絶縁電線を使い、端末を絶縁スリーブ付圧着端子加工して結線します。

注:次の規格のコードをお使い下さい。

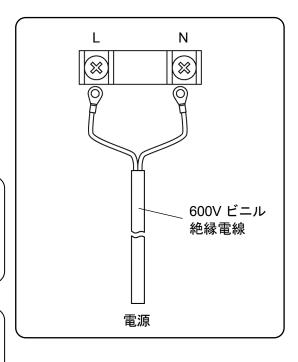
- ① IEC 60227-3
- ② ANSI/UL817
- ③ CSA C22.2 No.21/49

注記 1〉電源端子の L・N 表示

カナダの CSA 規格に準拠した表示です。単相交流電源のライブ側が L、ニュートラル側が N の表示です。満足な性能を得るために、L・N の結線を守って下さい。

注記 2 O 形端子の使用 -

なお、電源端子には安全確保のため、必ず、〇形端子をご使用下さい。それ以外の端子でも、〇端子のご使用をお勧めします。



/ 注意

■電源端子部の / マーク

結線後の電源端子部には、電源電圧が印加されています。

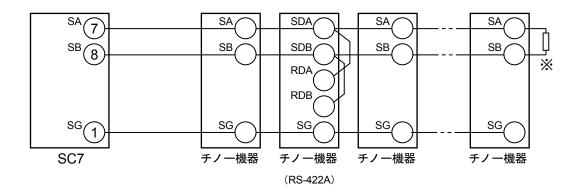


■電源電圧とノイズにご注意

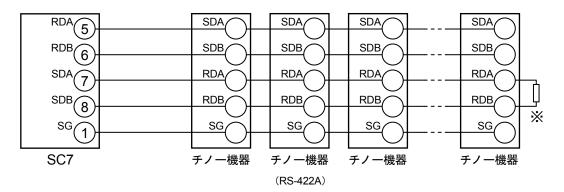
本器の電源電圧は、電源端子部に表示しています。表示以外の電源を入れると 事故を起こすか動作不良になります。また、電源にノイズが混入する場合は、 ノイズカットトランスの設置などの対策をして下さい。

8-3. チノーMODBUS 機器との接続

1. RS-485 の場合



2. RS-422A の場合



※終端抵抗(100 Ω) は必要になる場合があります。

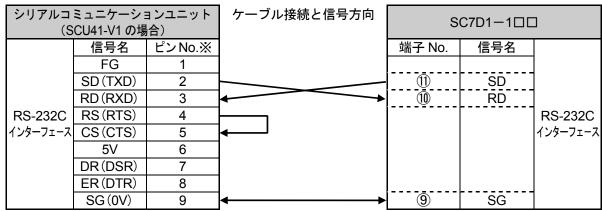
8-4. PLC との接続

1. 三菱電機 PLC の場合

シリアルコミュニケーションユニット (QJ71C24N の場合)		ケーブル接続と信号方向	方向 SC7D1-1E]	
	信号名	ピンNo.※		端子 No.	信号名	
	CD	1				
	RD(RXD)	2	4	11)	SD	
	SD (TXD)	3		10	RD	
RS-232C	DTR (ER)	4				RS-232C
インターフェース	SG	5	←	9	SG	インターフェース
	DSR (DR)	6	•			
	RS (RTS)	7				
	CS (CTS)	8	—			
	_	9				

※9 ピンコネクタの場合です。

2. オムロン PLC の場合



※9 ピンコネクタの場合です。

3. キーエンス PLC の場合

1) ポート1の場合(D-Sub9 ピンコネクタ)

シリアルコミュニケーションユニット (KV-L20V の場合)		ケーブル接続と信号方向	S	C7D1−1□□]	
	信号名	端子 No.※		端子 No.	信号名	
RS-232C	RD	2	4	11)	SD	RS-232C
インターフェース	SD	3		10	RD	インターフェース
	SG	5	-	9	SG	

※KV-L20V (COM ポート 1) ピンコネクタの場合です。

2) ポート2の場合(端子)

	シリアルコミュニケーションユニット (KV-L20V の場合)		ケーブル接続と信号方向	S	C7D1−1□□	
	信号名	端子 No.※		端子 No.	信号名	
RS-232C	RD	5	4	11)	SD	RS-232C
インターフェース	SD	3		10	RD	インターフェース
	SG	1	-	9	SG	

※KV-L20V (COM ポート2) 端子の場合です。COM ポート2を RS-232C に設定の上、ご使用下さい。

9. SC7 の設定

9-1. 初期設定

SC7 を初めてご使用される際は、初期設定が必要になります。設定には次の方法と項目があり、それぞれ設定する必要があります。

9-1-1. 前面キー操作による設定

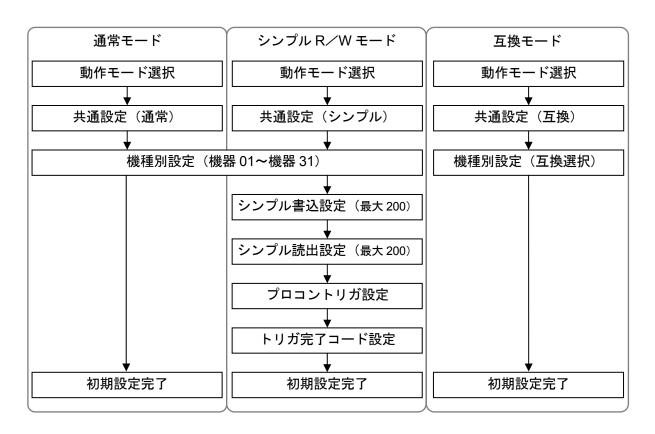
項目	内 容	初期値
PLC 号機 No.	0 ~ 99	0
PLC 側通信速度	9600bps / 19200bps / 38400bps	9600bps
機器側通信速度	9600bps / 19200bps / 38400bps	9600bps

9-1-2.「SC7 CONFIG TOOL」による設定

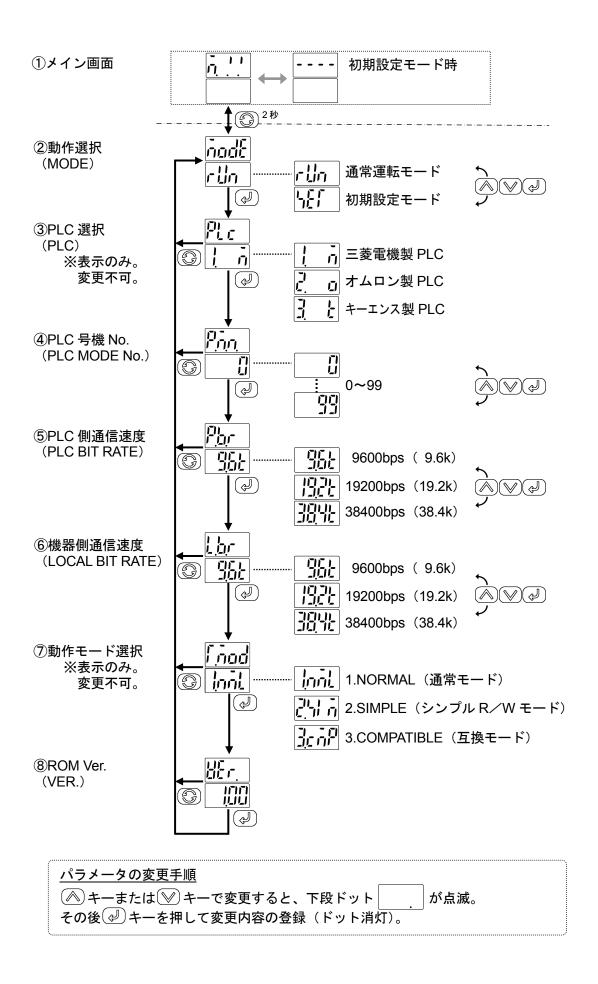
項	目	内 容	初期値
	動作モード	通常/シンプル R/W/互換	通常
	接続機器台数	1 ~ 31台	1台
	レジスタ種類	D(/W)※三菱電機 PLC のみ W 選択可能	トリガ : D
			データ:D
共通設定	占有レジスタ	D0 ~ D32000	D100
	トリガレジスタ	D0 ~ D32000	D200
	書込データ	D0 ~ D32000	D400
	読出データ	D0 ~ D32000	D500
	通信タイマ	タイマ値は機種選択で自動選定	6 秒
	分類	記録計/調節計/サイリスタレギュレータ	調節計
機器個別設定	機種	分類毎の詳細	DB1000B
(台数分)	データ	定常読出データ	Type01
	配置レジスタ	D0 ~ D32000	D600

[※]初期設定は SC7 本体をソケットから抜き取って行って下さい。

9-1-3. 初期設定手順概要



9-2. 前面キー操作設定



9-3. 文字表示一覧

SC7の表示器は7セグメントを使用しています。アルファベットの表現は一部無理な文字があり、下表の様に決めさせていただきます。

1. 数字

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
[]	1	7	7	14	5		71		

2. アルファベット

Α	В	С	D	Е	F	G	Н	J	K	L	М	Ν	0	Р	Q	R	S	Т	U	٧	W	Χ	Υ	Ζ
R	10	Ľ	1	1-1-1	ŗ	[]	J(_	 1.1	1-1-	!	, <u>n</u>		ū	P	17	-	1		111		!] ,	277	, , ,

9-4. 前面表示

+ -	n	4 4
表示	項目	内容
PWR ERR PLC LOC	① 三菱電機	
1 2 3 4	- '	是 異常
	③正常時にセグメント	
	④正常時にセグメント	
5 6 7 8	⑤n 通常	ν シンプル
	⑥未使用	
	⑦エラーNo.(PLC 側)
, <u>'</u>	⑧エラーNo. (機器側)	
PWR ERR PLC LOC	起動遅延タイマ	通信開始までのカウントダウン
• • • •		
,		
PWR ERR PLC LOC	正常時	セグメントを巡回表示
_		
PWR ERR PLC LOC	機器側通信エラー	通信異常時にエラーNo.を表示
		<エラー表示>
		】: パリティエラー
		, 否定応答
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		く : サムチェックエラー
_		5 : 無応答
/ J/		,
PWR ERR PLC LOC	PLC 側通信エラー	通信異常時にエラーNo.を表示
		(機器側通信エラーと同じ)
· - .		
PWR ERR PLC LOC	機器側+PLC 側	通信異常時にエラーNo.を表示
	通信エラー	(機器側通信エラーと同じ)
•		
1, -1,-1		

10. 手順と操作説明

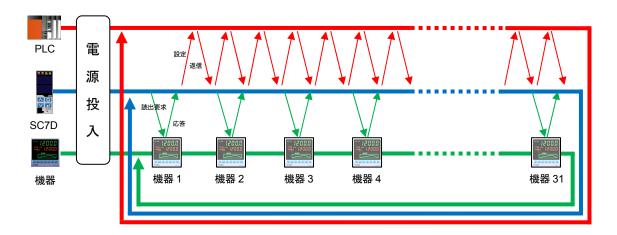
10-1. 設定の基本と概要

10-1-1. 定常リード概要

チノー機器の読出専用データ(定常データ)は電源投入後より常時連続して読出します。

機器アドレスが若い順に 1、2、3、…、31 と読出しを行い、31 の次はまた 1 に戻って止まることなく通信を続けます。

SC7⇔機器と SC7⇔PLC との通信は非同期で処理しているため、データの更新は最速で行われています。



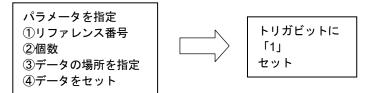
定常ライトについても同様です。

10-1-2. トリガ操作概要

接続機器パラメータの読出しと書込みには次の種類があります。

- 1. ライトトリガ…パラメータの設定変更
- 2. リードトリガ…パラメータの設定読出し
- 3. プロコンパターン一括ライト…プログラム調節計のプログラムパターンを一括で変更
- 4. プロコンパターン一括リード…プログラム調節計のプログラムパターンを一括で読出し

トリガの使用手順は次の通りになります。



パラメータやプログラムパターンの読出しや書込み(変更)には、「トリガ操作」と「テーブル設定」が必要になり、レジスタ番号は「SC7 CONFIG TOOL」で設定します。



共通設定画面

詳細はこちら P30

「10-2-2.通常モードのトリガ設定と運用」

10-1-3. 通信速度の設定

通信速度は SC7 本器前面のキー操作によって設定します。

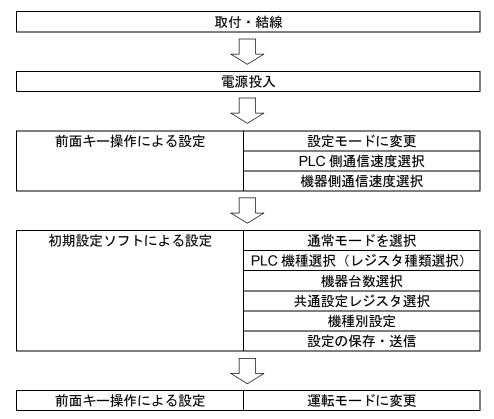
画面	手 順
運転画面	①運転画面にて ③ キーを2秒間押すと、設定画面に変わります。
<u> </u>	
<u>n</u>	
動作選択	②動作選択画面にて (人) キーまたは (火) キーを押し運転モードに変更
ñadi:	します。
rUn	
	(→) キーで設定の変更を登録します。
	③もう一度 ৶ キーを押すと、次の画面に移動します。
PLC 選択表示	④SC7 CONFIG TOOL で選択した PLC 機種表示です。
	│ これは確認画面ですので、そのまま〔﴿┛゚) キーを押して、次の画面に移 │ 動します。
i n	
PLC 号機 No.	⑤PLC の号機 No.を設定する画面ですが、殆どの場合は初期値の「0」で
<u>רְּיִתְת</u>	使用しますので、変更の必要はありません。
	キーを押して、次の画面に移動します。
PLC 側通信速度	⑥SC7 と PLC 間の通信速度を選択します。
<u> </u>	○
368	: 9600bps : 19200bps : 38400bps
	(⇒) キーで設定の変更を登録します。
	⑦もう一度 ৶ キーを押すと、次の画面に移動します。
機器側通信速度	8SC7と機器間の通信速度を選択します。
<u> </u>	〔 <u>◇</u> 〕キーまたは〔 <u>》</u> 〕キーを押し、通信速度を選びます。
366	: 9600bps : 19200bps : 38400bps
	(⇒) キーで設定の変更を登録します。
	③もう一度 🞣 キーを押すと、次の画面に移動します。
動作選択	⑩⑤ キーを押すと、動作選択画面に移動します。
nade run	①②キーを2秒間押して、運転画面に戻ります。

10-1-4. 初期化方法

SC7 は工場出荷状態に戻ります。

10-2. 通常モード

10-2-1. 通常モードの運用手順



※PLC の初期設定は各社取扱説明書を参照し、SC7 の通信仕様(6-2. 通信仕様)に合わせて設定して下さい。

10-2-2. 通常モードのトリガ設定と運用

ライトトリガおよびリードトリガは、次の手順で実行します。

1)初期設定	トリガ先頭アドレス
	書込データ先頭アドレス
	読出データ先頭アドレス
	\Box
2)トリガテーブル設定	リファレンス番号指定
	個数指定
	設定値の相対アドレス指定
3) データ設定(ライトのみ	(+)
•	
4)トリガ起動	

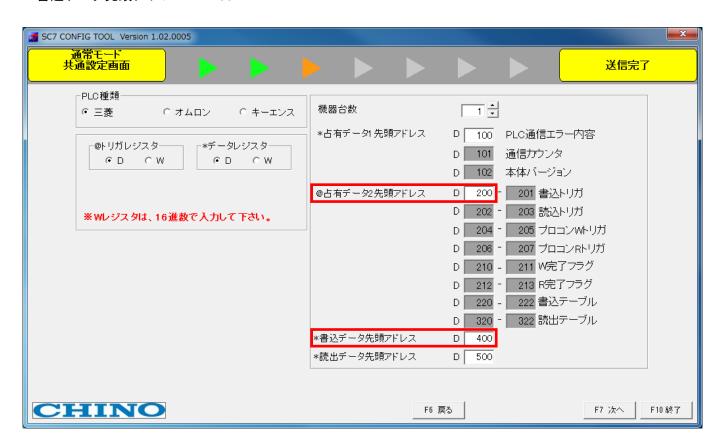
初期設定は SC7 運用前に一度設定しておけば、都度変更する必要はありません。 トリガテーブル設定は、トリガを起動する度に指定します。

相対アドレス指定

相対アドレスとは、パラメータを変更したい値を用意するレジスタのアドレスになります。

次のように初期設定します。

・占有データ 2 先頭アドレス: D200・書込データ先頭アドレス: D400



占有データ2先頭アドレスをD200に設定すると、トリガ書込テーブルは次のようになります。

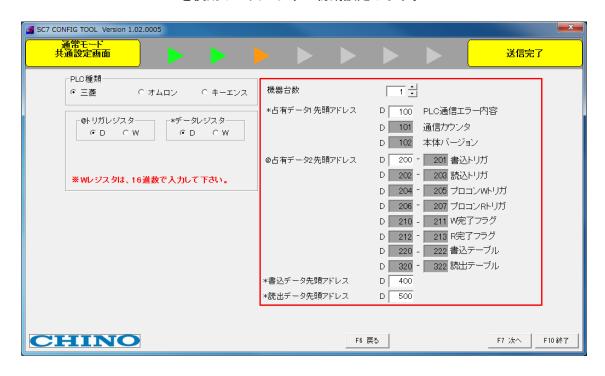
項目	レジスタ
リファレンス番号	D220
データ個数	D221
データ相対アドレス	D222

また書込データ先頭アドレスは D400 に設定しています よってデータ相対アドレスの指定と書込データアドレスの関係は次のようになります。

データ相対アドレス	書込データが
(D222) に指定する値	指定されるアドレス
0	D400
1	D401
2	D402
3	D403
4	D404

1) 初期設定

SC7 CONFIG TOOL を使用して次のように初期設定します。



このように設定するとトリガレジスタの内容は次の通りになります。

	項目			各ビットの内容(bit15~bit0)											1 22 4					
				b15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	b0	レジスタ
	#	機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D200
	書込	(1:書込み)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D200
読A	リガ	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D201
きパラ	カ	(1:書込み)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D201
書込ん	詰	機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D202
リ ガ タ	読出	(1:読出し) ⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D202
//	トリガ	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D203
	カ	(1:読出し)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D203

機器アドレス1のトリガはD200のビット1となります(D200.1)。

2) トリガテーブル設定

初期設定でトリガ先頭アドレスを決めると、必然的にトリガテーブルも決まります。 トリガ先頭アドレスを D200 と初期設定すると、書込テーブル、読出テーブルのアドレスは次 の通りになります。

機器	項目	書込テーブル レジスタ	読出テーブル レジスタ
1	リファレンス番号	D220	D320
	データ個数	D221	D321
	データ相対アドレス	D222	D322
2	リファレンス番号	D223	D323
	データ個数	D224	D324

設定値 SV1 を変更する場合、次のようにトリガテーブルを指定します。 (指定方法はラダープログラムでも、タッチパネルでも構いません。)

項目	書込テーブル	レジスタ設定							
块 口	レジスタ	内 容	意味						
リファレンス番号	D220	9D09(Hex) (40201)	パラメータ SV1 を示す値						
データ個数	D221	1(Hex) (1)	1個 (40201から1個)						
データ相対アドレス	D222	0(Hex) (0)	書込データ先頭アドレス (D400)からの相対値 (0 は D400 を指します)						

[※]リファレンス番号の詳細については機器毎の通信取扱説明書を参照下さい。

3) データ設定

データはライトトリガのときのみ設定します。レジスタの制約から符号付き 16 ビットデータ (-32767~32767)で設定しますが、パラメータの各範囲に制限されます。SV 値であれば測定 範囲内の値で設定します。

(MODBUS プロトコルのため小数点は入れられません。SV=300.0 の場合、3000 と設定します。)

項目	書込データ レジスタ	データ
データ設定	D400	任意

4) トリガ起動

ビットに1をセットしてトリガを起動します。

機器1のビット1の場合、D200.1に1をセットするとトリガ起動となります。

トリガ処理が終わると SC7 がトリガビットを 0 クリアします。

項目	トリガ レジスタ	データ
トリガ起動	D200.1	1 (Bit)

SC7にはトリガのリトライ動作機能はありません。

トリガ起動にはトリガ完了コードがあります。

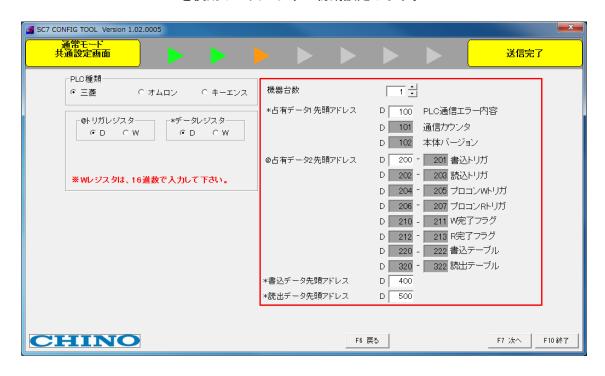
正常に完了すればビットに 1 がフラグとして上がります。トリガ失敗の場合は 1 が上がりません。よってリトライ処理を外部で構築して頂く場合は 2sec 以上のウェイトを設けて (0 が 2sec 以上続いた状態を確認の上) 再度トリガ起動を行って下さい。

※トリガの設定内容や占有レジスタの詳細は SC7 CONFIG TOOL でも確認できます。



1) 初期設定

SC7 CONFIG TOOL を使用して次のように初期設定します。



このように設定するとトリガレジスタの内容は次の通りになります。

						各ビットの内容(bit15~bit0)													1 × 2 5	
	項目				14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	b0	レジスタ
	#	機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D200
	書込	(1:書込み)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D200
読A	リガ	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D201
きパラ	カ	(1:書込み)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D201
書込ん	詰	機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D202
リ ガ タ	読出	(1:読出し) ⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D202
//	トリガ	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D203
	カ	(1:読出し)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D203

機器アドレス1のトリガはD200のビット1となります(D200.1)。

2) トリガテーブル設定

初期設定でトリガ先頭アドレスを決めると、必然的にトリガテーブルも決まります。 トリガ先頭アドレスを D200 と初期設定すると、書込テーブル、読出テーブルのアドレスは次 の通りになります。

機器	項目	書込テーブル レジスタ	読出テーブル レジスタ
1	リファレンス番号	D220	D320
	データ個数	D221	D321
	データ相対アドレス	D222	D322
2	リファレンス番号	D223	D323
	データ個数	D224	D324

記録 ON/OFF を変更する場合、次のようにトリガテーブルを指定します。 (指定方法はラダープログラムでも、タッチパネルでも構いません。)

項目	書込テーブル	L	ンジスタ設定
块 口	レジスタ	内 容	意味
リファレンス番号	D220	1(Hex)	パラメータの記録 ON/OFF
		(1)	を示す値
データ個数	D221	1(Hex)	1 個
		(1)	
データ相対アドレス	D222	0(Hex)	書込データ先頭アドレス
		(0)	(D400)からの相対値
			(0 は D400 を指します)

[※]リファレンス番号の詳細については機器毎の通信取扱説明書を参照下さい。

3) データ設定

データはライトトリガのときのみ設定します。レジスタの制約から符号付き 16 ビットデータ (-32767~32767) で設定しますが、パラメータの各範囲に制限されます。SV 値であれば測定 範囲内の値で設定します。

項目	書込データ レジスタ	データ
データ設定	D400	0(Hex):記録 OFF FF00(Hex):記録 ON

4) トリガ起動

ビットに1をセットしてトリガを起動します。

機器 1 のビット 1 の場合、D200.1 に 1 をセットするとトリガ起動となります。

トリガ処理が終わると SC7 がトリガビットを 0 クリアします。

項目	トリガ レジスタ	データ
トリガ起動	D200.1	1 (Bit)

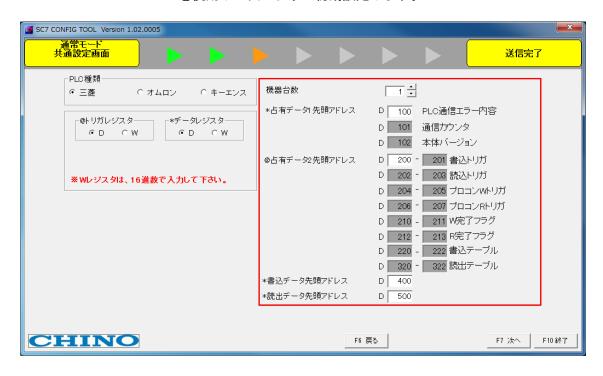
SC7にはトリガのリトライ動作機能はありません。

トリガ起動にはトリガ完了コードがあります。

正常に完了すればビットに 1 がフラグとして上がります。トリガ失敗の場合は 1 が上がりません。よってリトライ処理を外部で構築して頂く場合は 2sec 以上のウェイトを設けて (0 が 2sec 以上続いた状態を確認の上) 再度トリガ起動を行って下さい。

1) 初期設定

SC7 CONFIG TOOL を使用して次のように初期設定します。



このように設定するとトリガレジスタの内容は次の通りになります。

						各ビットの内容(bit15~bit0)														
	項目			b15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	b0	レジスタ
	#	機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D200
	書込	(1:書込み) ⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D200
読A	トリガ	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D201
きょう	カ	(1:書込み)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D201
書込ト	幸	機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D202
リ ガ ダ	読出	(1:読出し) ⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D202
//	l,	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D203
	Ή	(1:読出し) ⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D203

機器アドレス1のトリガはD200のビット1となります(D200.1)。

2) トリガテーブル設定

初期設定でトリガ先頭アドレスを決めると、必然的にトリガテーブルも決まります。 トリガ先頭アドレスを D200 と初期設定すると、書込テーブル、読出テーブルのアドレスは次 の通りになります。

機器	項目	書込テーブル レジスタ	読出テーブル レジスタ
1	リファレンス番号	D220	D320
	データ個数	D221	D321
	データ相対アドレス	D222	D322
2	リファレンス番号	D223	D323
	データ個数	D224	D324

マニュアル出力を変更する場合、次のようにトリガテーブルを指定します。 (指定方法はラダープログラムでも、タッチパネルでも構いません。)

項目	書込テーブル	L	ンジスタ設定						
块 口	レジスタ	内 容	意 味						
リファレンス番号	D220	A029(Hex)	パラメータのマニュアル出						
		(41001)	力を示す値						
データ個数	D221	1(Hex)	1個						
		(1)							
データ相対アドレス	D222	0(Hex)	書込データ先頭アドレス						
		(0)	(D400)からの相対値						
			(0 は D400 を指します)						

[※]リファレンス番号の詳細については機器毎の通信取扱説明書を参照下さい。

3) データ設定

データはライトトリガのときのみ設定します。レジスタの制約から符号付き 16 ビットデータ (-32767~32767)で設定しますが、パラメータの各範囲に制限されます。SV 値であれば測定 範囲内の値で設定します。

(MODBUS プロトコルのため小数点は入れられません。50.0%の場合、500 と設定します。)

項目	書込データ レジスタ	データ
データ設定	D400	任意 (0~1000)

4) トリガ起動

ビットに1をセットしてトリガを起動します。

機器1のビット1の場合、D200.1に1をセットするとトリガ起動となります。

トリガ処理が終わると SC7 がトリガビットを 0 クリアします。

項目	トリガ レジスタ	データ
トリガ起動	D200.1	1 (Bit)

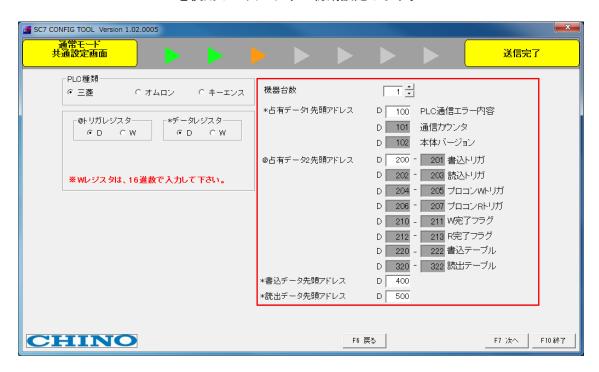
SC7にはトリガのリトライ動作機能はありません。

トリガ起動にはトリガ完了コードがあります。

正常に完了すればビットに 1 がフラグとして上がります。トリガ失敗の場合は 1 が上がりません。よってリトライ処理を外部で構築して頂く場合は 2sec 以上のウェイトを設けて (0 が 2sec 以上続いた状態を確認の上) 再度トリガ起動を行って下さい。

1) 初期設定

SC7 CONFIG TOOL を使用して次のように初期設定します。



このように設定するとトリガレジスタの内容は次の通りになります。

						各ビットの内容(bit15~bit0)													1 × 2 5	
	項目				14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	b0	レジスタ
	#	機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D200
	書込	(1:書込み)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D200
読A	リガ	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D201
きパラ	カ	(1:書込み)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D201
書込ん	詰	機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D202
リ ガ タ	読出	(1:読出し) ⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D202
//	トリガ	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D203
	カ	(1:読出し)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D203

機器アドレス1のトリガはD200のビット1となります(D200.1)。

2) トリガテーブル設定

初期設定でトリガ先頭アドレスを決めると、必然的にトリガテーブルも決まります。 トリガ先頭アドレスを D200 と初期設定すると、書込テーブル、読出テーブルのアドレスは次 の通りになります。

機器	項目	書込テーブル レジスタ	読出テーブル レジスタ
1	リファレンス番号	D220	D320
	データ個数	D221	D321
	データ相対アドレス	D222	D322
2	リファレンス番号	D223	D323
	データ個数	D224	D324

PID 値を変更する場合、次のようにトリガテーブルを指定します。 (指定方法はラダープログラムでも、タッチパネルでも構いません。)

項目	書込テーブル	L	ンジスタ設定
块 口	レジスタ	内 容	意味
リファレンス番号	D220	9D0E(Hex)	パラメータの比例帯Pを
		(40206)	示す値
データ個数	D221	3(Hex)	3 個
		(3)	(40206~40208)
データ相対アドレス	D222	0(Hex)	書込データ先頭アドレス
		(0)	(D400)からの相対値
			(0 は D400 を指します)

[※]リファレンス番号の詳細については機器毎の通信取扱説明書を参照下さい。

3) データ設定

データはライトトリガのときのみ設定します。レジスタの制約から符号付き 16 ビットデータ (-32767~32767)で設定しますが、パラメータの各範囲に制限されます。SV 値であれば測定 範囲内の値で設定します。

(MODBUS プロトコルのため小数点は入れられません。2.0%の場合、20 と設定します。)

項目	書込データ レジスタ	データ
データ設定	D400	任意
		(P: 0∼9999)
	D401	任意
		(I: 0~9999)
	D402	任意
		(D:0~9999)

4) トリガ起動

ビットに1をセットしてトリガを起動します。

機器1のビット1の場合、D200.1に1をセットするとトリガ起動となります。 トリガ処理が終わるとSC7がトリガビットを0クリアします。

項目	トリガ レジスタ	データ
トリガ起動	D200.1	1 (Bit)

SC7にはトリガのリトライ動作機能はありません。

トリガ起動にはトリガ完了コードがあります。

正常に完了すればビットに 1 がフラグとして上がります。トリガ失敗の場合は 1 が上がりません。よってリトライ処理を外部で構築して頂く場合は 2sec 以上のウェイトを設けて (0 が 2sec 以上続いた状態を確認の上) 再度トリガ起動を行って下さい。

10-3. シンプル R∕W モード

10-3-1. シンプル R/W モードの運用手順

取付	· 結線							
電流	原投入							
前面キー操作による設定	設定モードに変更							
	PLC 側通信速度選択							
	機器側通信速度選択							
初期設定ソフトによる設定	シンプル R/W モードを選択							
	PLC 機種選択(レジスタ種類選択)							
	機器台数選択							
	共通設定レジスタ選択							
	プログラム調節計有無選択							
	機種別設定							
	シンプル R/W(書込み)設定							
	シンプル R/W(読出し)設定							
	設定の保存・送信							
前面キー操作による設定	運転モードに変更							

※PLC の初期設定は各社取扱説明書を参照し、SC7 の通信仕様(6-2. 通信仕様)に合わせて設定して下さい。

10-3-2. シンプル R/W 概要

シンプル R (リード) /W (ライト) モードとは、パラメータの読出しと書込みが簡単に運用できるモードです。読出しについては毎回読出す「常時読出し」、任意のタイミングで読出す「トリガ読出し」が初期設定で選択できます。



シンプル R 設定画面

書込みについては、"レジスタの値が変更されると SC7 は機器に書込む"という、運用面において最もシンプルな機能となります。

設定を変更したいパラメータは初期設定でひとつずつ設定します。



シンプル W 設定画面

10-3-3. シンプル R/W モードの初期設定とトリガの運用

1. シンプル W (ライト) の場合

シンプル W とは初期設定さえしておけば、SC7 がレジスタの値の変化を監視して、レジスタの値に変化があれば、その都度 SC7 から機器へ変更を書込むという、運用においてとてもシンプルな手順のモードとなります。

シンプルWで使用できるパラメータの数は31台合計で最大200データとなります。

接続機器が1台であれば、1台で200データ使用することができます。

また、200 データの配置レジスタは連続アドレスとなります。レジスタのアドレスは先頭のみ初期設定で指定できます。

シンプル W で書込みが失敗した場合、SC7 からはリトライを実行しません。これは定常リードの通信効率を最優先とするためです。

リトライはお客様自身で構築する必要があります。

シンプルWには完了コード有無を初期設定で選択できます。

完了コードレジスタのビット内容は次の通りとなります。

例) 完了コードを D900 に設定した場合

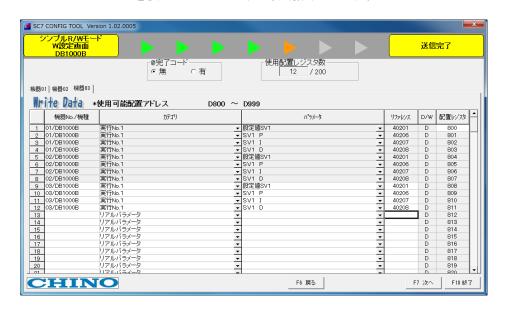
D900	完了	機器 01~15 (1:完了)	15 0	14	13	12	11 0	10	9	8 0	•	_	_	4	_	2	1	##	+	— ビット
D901	ード	機器 16~31 (1:完了)	31 0	30 0	29 0	28 0	27 0	26 0	25 0	24 0	23 0		21 0	20 0	19 0	18 0	17 0	16 0	+	— ビット

シンプル W は次の手順で実行します。

1)初期設定	シンプル W パラメータ設定
2)レジスタ値の変更	

1) 初期設定

SC7 CONFIG TOOL を使用して次のように初期設定します。



初期設定では「配置レジスタ」「カテゴリ」「パラメータ」「リファレンス」を設定します。リファレンスを直接入力しても設定でき、その場合、カテゴリとパラメータは自動で付加されます。

カテゴリ選択後、パラメータを選択しても設定できます。その場合、リファレンス番号は自動で付加されます。

①配置レジスタ

シンプルライトデータを配置するレジスタの先頭アドレスを指定します。

②カテゴリ

シンプルWで使用したいパラメータのグループを選択します。機器のパラメータは数がとても多いためグループ分けして、探し易いようにできています。

③パラメータ

シンプルWで使用したいパラメータを選択します。

④リファレンス番号

パラメータ毎に用意された番号です。詳細は機器毎の通信取扱説明書に記載しています。 通信取扱説明書を参照しながら直接リファレンス番号を入力しても設定できます。

2) レジスタ値の変更

レジスタの値を変更すると、SC7 は機器へパラメータを書込みます。 上記設定の場合、レジスタ D800 の値を変更すると、SC7 は変更後の値を機器アドレス 1 の SV 値に書込みます。

※シンプルWにリトライをかけたい場合

通信ステータスを活用してシンプル W 失敗時にリトライをかけたい場合は、初期設定時に「シンプル W のリトライトリガを使用する」で『する』を選択して下さい。

通常モードと同アドレスのライトトリガが有効になります。

例) トリガ先頭アドレスを D200 に設定した場合

±	機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D200
書込	(1:書込み)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D200
Į,	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D201
ガ	(1:書込み)⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D201

2. シンプル R (リード) の場合

シンプルRとは、初期設定さえしておけば、SC7があらかじめ指定したレジスタに機器より読出したデータをセットするシンプルな手順のモードとなります。

シンプル R で読出せるパラメータの数は 31 台合計で最大 200 データとなります。

接続機器が1台であれば、1台で200データ読出すことができます。

また、200 データの配置レジスタは連続アドレスとなります。レジスタのアドレスは先頭のみ初期設定で指定できます。

シンプルRには、定常リードと同様に常時読出す方法と、トリガ起動時のみ読出す方法の2通りから選択できます。

トリガによる読出しの方が、必要時のみ読出すため、通信効率が上がります。

シンプルRは次の手順で実行します。

1)初期設定	トリガ有無選択(トリガアドレス指定)							
	シンプルR パラメータ設定							
2) トリガ起動(トリガ有の場合)								

1) 初期設定

SC7 CONFIG TOOL を使用して次のように初期設定します。



初期設定では「リードトリガアドレス」「配置レジスタ」「カテゴリ」「パラメータ」「リファレンス」を設定します。リファレンスを直接入力しても設定でき、その場合、カテゴリとパラメータは自動で付加されます。

カテゴリ選択後、パラメータを選択しても設定できます。その場合、リファレンス番号は自動で付加されます。

①配置レジスタ

シンプルリードデータを配置するレジスタの先頭アドレスを指定します。

②カテゴリ

シンプルRで読出すパラメータのグループを選択します。機器のパラメータは数がとても多いためグループ分けして、探し易いようにできています。

③パラメータ

シンプル R で読出すパラメータを選択します。

④リファレンス番号

パラメータ毎に用意された番号です。詳細は機器毎の通信取扱説明書に記載しています。 通信取扱説明書を参照しながら直接リファレンス番号を入力しても設定できます。

⑤リードトリガアドレス

「有」に設定するとトリガによるシンプル R が可能となります。その場合、トリガアドレスを設定します。

2) トリガ起動

トリガアドレスを D980 と指定した場合、トリガの割付は次の通りとなります。

D980	IJ	機器 01~15												4			1	_			. * .
	ļ'	(1:読出し)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	_	ビット
D981	1-1	機器 16~31	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16			
Daoı	ъ́	(1:読出し)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	•	_	ビット

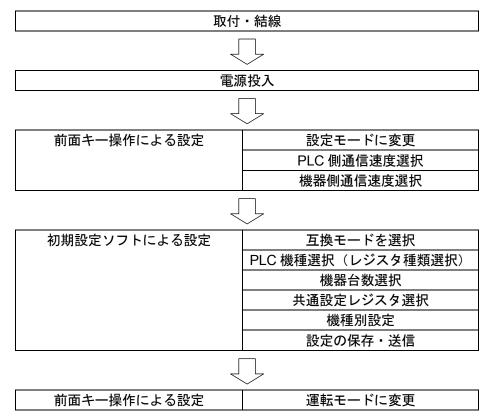
トリガは機器単位での起動となります。機器アドレス 1 に 10 データのシンプル R 設定している場合、トリガ起動で 10 データ読出します。

トリガ起動はトリガレジスタの各ビットに1をセットします。

シンプルR完了後はSC7がトリガビットを0クリアします。

10-4. 互換モード

10-4-1. 互換モードの運用手順



※PLC の初期設定は各社取扱説明書を参照し、SC7 の通信仕様(6-2. 通信仕様)に合わせて設定して下さい。

10-4-2. 互換モードのトリガ設定と運用

互換モードは旧 SC7(SC7M1-1□A、SC7U1-1□A)の通信互換が可能なモードです。 初期設定において、レジスタの値を合わせておけば、定常リードとライトトリガにおいて互換が可能 です。

ライトトリガは、次の手順で実行します。

1)初期設定	トリガ先頭アドレス
	書込データ先頭アドレス
	\Box
2)トリガテーブル設定	リファレンス番号指定
	個数指定
	設定値の相対アドレス指定
3) データ設定	
	Ţ,
4)トリガ起動	

初期設定は SC7 運用前に一度設定しておけば、都度変更する必要はありません。 トリガテーブル設定は、トリガを起動する度に指定します。

例) 機器アドレス 1 (DB1000B) の SV1 を変更するトリガの起動手順

1) 初期設定

SC7 CONFIG TOOL を使用して次のように初期設定します。



このように設定するとトリガレジスタの内容は次の通りになります。

	機器	項目	内容
D200	空き	空き	予約レジスタ
D201		空き	予約レジスタ
D202	機器1	ライトトリガ	ライトトリガ完了コード
		操作	1=ライト成功 2=ライト失敗
D203			1をセット(書込み)
D204		ライトトリガ	ライトトリガでライトするパラメータの
		設定	リファレンス番号
D205			ライトトリガでライトするデータ数
			最大32
D206			ライトデータ格納レジスタ指定
			ライトデータエリア先頭からの相対値
D207	機器2	ライトトリガ	ライトトリガ完了コード
		操作	1=ライト成功 2=ライト失敗
D208			1をセット(書込み)

機器アドレス 1 のトリガは D203 になります。

2) トリガテーブル設定

初期設定でトリガ先頭アドレスを決めると、必然的にトリガテーブルも決まります。 トリガ先頭アドレスを D200 と初期設定すると、書込テーブル、読出テーブルのアドレスは次 の通りになります。

機器	項目	書込テーブル レジスタ
1	トリガ完了コード	D202
	ライトトリガ	D203
	リファレンス番号	D204
	データ個数	D205
	データ相対アドレス	D206
2	トリガ完了コード	D207
	ライトトリガ	D208

設定値 SV1 を変更する場合、次のようにトリガテーブルを指定します。 (指定方法はラダープログラムでも、タッチパネルでも構いません。)

項目	書込テーブル	レジスタ設定						
块 口	レジスタ	内 容	意味					
リファレンス番号	D204	9D09(Hex) (40201)	パラメータ SV1 を示す値					
データ個数	D205	1(Hex) (1)	1個 (40201から1個)					
データ相対アドレス	D206	0(Hex) (0)	書込データ先頭アドレス (D400)からの相対値 (0 は D400 を指します)					

[※]リファレンス番号の詳細については機器毎の通信取扱説明書を参照下さい。

3) データ設定

データはライトトリガのときのみ設定します。レジスタの制約から符号付き 16 ビットデータ (-32767~ 32767) で設定しますが、パラメータの各範囲に制限されます。SV 値であれば測 定範囲内の値で設定します。

(MODBUS プロトコルのため小数点は入れられません。SV=300.0 の場合、3000 と設定します。)

項目	書込データ レジスタ	データ
データ設定	D400	任意

4) トリガ起動

レジスタに1をセットしてトリガを起動します。

機器1の場合、D203に1をセットするとトリガ起動となります。

トリガ処理が終わると SC7 がトリガビットを 0 クリアします。

項目	トリガ レジスタ	データ
トリガ起動	D203	1(Hex) (1)

SC7にはトリガのリトライ動作機能はありません。

トリガ起動にはトリガ完了コードがあります。

正常に完了すれば完了コードのレジスタに1がフラグとして上がります。トリガ失敗の場合は2 が上がりますので、リトライ処理等を外部で構築して頂くと、より確実なトリガ操作が行えます。

10-5. トリガ操作

10-5-1. トリガ操作

パラメータの読出し(トリガリード)、パラメータの書込み(トリガライト)、プログラム調節計のプログラムパターン読出し、書込みは、それぞれトリガ操作が必要になります。

トリガ操作とは、トリガに相当するレジスタの各ビットを操作し、ビットに 1 をセットすることで、トリガをかけることができます。

トリガは初期設定でレジスタを割り当てます。



トリガ操作による占有レジスタ詳細は、6-4項(P.12)をご参照下さい。

トリガ内訳は以下のようになります。

(初期設定でトリガ先頭レジスタを D200 に設定した場合、D200~D209 までがトリガ操作レジスタになります。)

			各ビットの内容(bit15~bit0)	
		項目	b15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 b0	レジスタ
	#	機器アドレス 01~15 N	0. 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 *	D200
	書込トリ	(1:書込み) ⇒ В	t 00000000000000000	D200
読A	トリガ	機器アドレス 16~31 N		D201
書 垈	7)	(1:書込み) ⇒ B		DZUT
書込トリガパラメータ	読	機器アドレス 01~15 N		D202
ガタ	読出ト	(1:読出し)⇒ B	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	5202
	トリガ	機器アドレス 16~31 N		D203
	,,	(1:読出し)⇒ B	·	
→	書	機器アドレス 01~15 N		D204
ᆲ	書込トリガ	(1:書込み) ⇒ B		
コププ	リガ	機器アドレス 16~31 N (1:書込み)⇒ R	01 00 20 20 27 20 20 24 20 22 21 20 10 10 17 10	D205
バダグ				
コンパターントリガプログラム調節計	読	機器アドレス 01~15 N (1:読出し) ⇒ R		D206
ト盟	読出トリガ	(1:読出し)⇒ B 機器アドレス 16~31 N		
ガー	ガ	(1:読出し) ⇒ B		D207
		機器アドレス 01~15 N		
機種選択調節計	読	(KP:0 DP:1) ⇒ B		D208
種選択調節計	読書共通	機器アドレス 16~31 N		D000
水計	进	(KP:0 DP:1) ⇒ B		D209
		機器アドレス 01~15 N	o. I 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 *	
	書	(1:完了) ⇒ B		D210
D	書込完了	機器アドレス 16~31 N		D044
フト	ı	(1:完了) ⇒ B		D211
フラグ		機器アドレス 01~15 N	0. 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 *	D212
完了	読出完了	(1:完了) ⇒ B	t 00000000000000000	D212
	完了	機器アドレス 16~31 N		D213
	•	(1:完了) ⇒ B	t 00000000000000000	D213

A: パラメータ読出・書込トリガ

パラメータを読出し、書込みする際に操作するトリガです。変更したいタイミングでビットに1をセットすると、パラメータの読出し、または書込みを実行します。

トリガ操作完了後は SC7 がビットを 0 に戻します。

B: プログラム調節計プロコンパターントリガ

プログラムパターンを読出し、書込みするトリガです。変更したいタイミングでビットに 1 をセットすると、パターンの読出し、または書込みを実行します。

トリガ操作完了後は SC7 がビットを 0 に戻します。

C:調節計機種選択 ※

プロコンパターントリガ使用時にしか有効にならないビットで、プログラム調節計が KPシリーズか、DP-G シリーズかをここで選択します。

- ・KP シリーズ: KP1000C、KP2000、KP3000C
 - …機器アドレス毎にビットは0をセット。
- ・DP-G シリーズ: DP1000G、DP2000G、DP3000G
 - …機器アドレス毎にビットは1をセット。

※:「C:調節計機種選択」項目は、SC7D本体バージョン2.00以降の場合、「空き」となります。

D:トリガ完了フラグ

機器毎にトリガが完了するとビットに1がセットされます。

- ・トリガ正常完了:ビットに1をセット
- ・トリガ異常完了:ビットになにもしない

完了フラグは読出しと書込みで異なりますが、パラメータトリガとプロコントリガは共 通の完了フラグとなります。

10-5-2. プロコントリガ概要

プログラム調節計(KP シリーズ、DP-G シリーズ)のプログラムパターンの読出し、書込みが特別なプログラムの構築をしなくても運用できる機能となります。

例えばプログラム書込みの場合、初期設定で指定したレジスタに、規則に従って SV 値、時間、PIDNo.、警報 No.等をセットします。そしてプロコントリガに 1 をセットすると、SC7 は専用コマンドによりプログラム調節計へ 1 つのパターンをまとめて書込みます。

読出しについてはプロコントリガに1をセットするだけで、初期設定で指定したレジスタに1つのパターンをまとめて読出します。

10-5-3. プロコンパターントリガの設定と運用

プロコンパターン(プログラム調節計のプログラムパターン)トリガとは、プログラム調節計 KP シリーズ、DP-G シリーズのプログラムパターン設定の読出し、書込みが効率良くできるトリガです。 KP シリーズでは 19 ステップ分の設定、DP-G シリーズであれば 199 ステップ分の設定を一括で読出し、書込みします。

プロコンパターントリガは、次の手順で実行します。

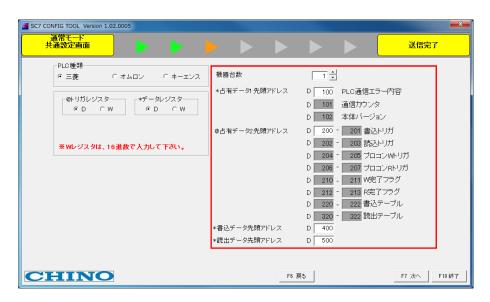
1) 初期設定	トリガ先頭アドレス
	書込データ先頭アドレス
	読出データ先頭アドレス
	\Box
2)トリガテーブル設定	パターン番号指定
	パターン数 1 指定(1 固定)
	パターンの相対アドレス指定
3) プロコン機種指定	
4) パターンデータ設定(ライトのみ)
	\Box
5) プロコントリガ起動	

初期設定は SC7 運用前に一度設定しておけば、都度変更する必要はありません。 トリガテーブル設定は、トリガを起動する度に指定します。

例)機器アドレス 1 (KP1000C) のパターン 1 を設定するトリガの起動手順

1) 初期設定

SC7 CONFIG TOOL を使用して次のように初期設定します。



このように設定するとプロコントリガレジスタの内容は次の通りになります。

プ B	書込	機器アドレス 01~15 (1:書込み)⇒	No. Bit	15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 * 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	D204
- I	ートリガ	機器アドレス 16~31	No.	31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16	D205
ンパター ログラ		(1:書込み)⇒ 機器アドレス 01~15	Bit No.	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
・シトリガム調節計	読出ト	(1:読出し) ⇒	Bit	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	D206
ガ計	ガ	機器アドレス 16~31 (1:読出し)⇒	No. Bit	31 30 29 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18 17 16 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	D207

機器アドレス1のプロコントリガはD204のビット1となります(D204.1)。

2) トリガテーブル設定

初期設定でトリガ先頭アドレスを決めると、必然的にトリガテーブルも決まります。 トリガ先頭アドレスを D200 と初期設定すると、書込テーブル、読出テーブルのアドレスは次 の通りになります。

機器	項目	書込テーブル レジスタ	読出テーブル レジスタ
1	パターン番号	D220	D320
	パターン数	D221	D321
	パターン相対アドレス	D222	D322
2	パターン番号	D223	D323
	パターン数	D224	D324

パターン No.1 を変更する場合、次のようにパターンテーブルを指定します。 (指定方法はラダープログラムでも、タッチパネルでも構いません。)

項目	書込テーブル	レジスタ設定						
块 口	レジスタ	内 容	意 味					
パターン番号	D220	1(Hex)	パターン No.1					
		(1)						
パターン数	D221	1(Hex)	1 固定					
		(1)						
パターン相対アドレス	D222	258(Hex)	書込データ先頭アドレス					
		(600)	(D400)からの相対値					
			(600 は D1000 を指します)					

3) プロコン機種指定 ※

プログラム調節計の機種を指定します。

- ・KP シリーズはビットに 0 をセットします。
- ·DP-G シリーズはビットに1をセットします。

[6]		機器アドレス 01~15	No.	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	*	D208
機種調	読書	(KP:0 DP:1) ⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D200
選調新計	共通	機器アドレス 16~31	No.	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	D209
"`計	~=	(KP:0 DP:1) ⇒	Bit	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	D209

※:「C:調節計機種選択」項目は、SC7D本体バージョン 2.00 以降の場合、「空き」となります。

4) パターンデータ設定

パターン書込みの場合は、決まったフォーマットであらかじめレジスタにパターンの各種パラメータをセットします。

フォーマットは付録 4 項 KP パターン表(DP-G の場合は付録 5 項)を参照し、レジスタに順番にセットします。

【付録】 プログラムパターンテーブル(KP1000C/KP2000)

ステップ共通パラメータ

STEP				PTNリンク先 (0~30)	スタートSV (-19999~30000)	リセットSV (-19999~30000)	終了時出力OUT1 (-50~1050)	終了時出力OUT2 (-50~1050)
0	1	1	19	0	0	0	0 0	
		0		1	2	3	4	5
	Н0	101	H1:	300	H0000	H0000	H0000	H0000

<u>ステッ</u>プ毎パラメータ

<i>^</i>	<u>ノ 毋 / 丶 .</u>	<i>) </i>												
STEP	設定f -19999	値SV ~30000)	時間 (0~)			時間[分] (0~59) (警報No. (0,1~8)	出力パットNo. (0,1~8)	変化量リミットNa. (0,1~8)	出力プリセットNo. (0,1~8)	センサ補正No. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)
1	20	00	2	2	()	FF	1	1	1	1	1	1	1
	6	3	7			8	9	9		10	1	1	12	
	H07	7D0	H00	002	HO	H0000		HFF01		H0101		H0101		01
	実温度補償No. (0,1~8)	待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT No. (0,1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	1	3	1	4	1	15		6		17	1	8		
	H01	101	H01	100	HO	H0000		H0000		H0000		000		

上記の通り、プロコンパターン表に設定したい値を入れ、それを青字のように 16 進数 (Hex) に換算してレジスタにセットします。

初期設定で書込データ先頭アドレスを D400 と設定していますので、プロコンデータの設定を D1000 から用意する場合は、プロコンパターンの相対アドレスを 600 とセットします。 (D400+600=D1000 がプロコンパターン設定データの先頭アドレス)

No.	レジスタ	設定データ
0	D1000	0101(Hex)
1	D1001	1300(Hex)
2	D1002	0000(Hex)
3	D1003	0000(Hex)
4	D1004	0000(Hex)
5	D1005	0000(Hex)
ļ		

5) プロコントリガ起動

ビットに1をセットしてトリガを起動します。

機器1のビット1の場合、D204.1に1をセットするとトリガ起動となります。 トリガ処理が終わるとSC7がトリガビットを0クリアします。

項目	トリガ レジスタ	データ
プロコントリガ起動	D204.1	1 (Bit)

10-6. 詳細設定

10-6-1. 通信エラー内容詳細

SC7 は機器毎の通信エラー内容を定常リードに付加します。これによって各機器における通信状態を確認することができます。(定常ライトについても同様です。)

1. 定常リードフォーマット

定常リードと通信エラー内容のレイアウトは動作モードにより異なります。

- 例)機器アドレス 1 の定常リードを D500 に設定した場合
- 1) 通常モード、シンプル R/W モード 通信エラー内容は定常リードの先頭に付加します。

D500	D501	D502	D503	D504	D505	
通信エラー	定常リード	定常リード	定常リード	定常リード		
内容	1	2	3	4		

2) 互換モード

通信エラー内容は旧形 SC7 に合わせ、定常リードの末尾に付加します。

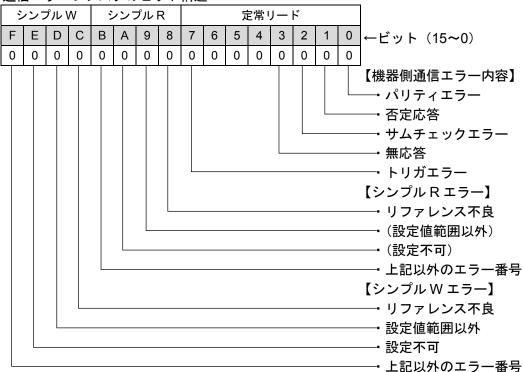
D500	D501	D502	Ī	D717	D518	D519
定常リード	定常リード	定常リード		定常リード	(空き)	通信エラー
1	2	3		末尾		内容

2. 通信エラー内容

通信エラー内容は動作モードにより異なります。

1) 通常モード、シンプル R/W モード 通信エラー内容はビット単位で上がります。

通信エラーレジスタのビット構造



シンプル R、シンプル W のエラーは MODBUS 通信のエラー応答内容により、ビットを判別します。機器毎に複数パラメータを設定してあり、いずれか 1 つでもエラーが発生すると、エラーと判断し、ビットに 1 が上がります。

エラービットは通信カウントが 1 周するまで 1 を保持し、正常に戻れば SC7 よりビットを 0 クリアします。

2) 互換モード

通信エラー内容は数値でレジスタにセットされます。

(0:エラーなし)

⁻1:パリティエラー

2:否定応答

4:サムチェックエラー

5:無応答

_、7:トリガエラー

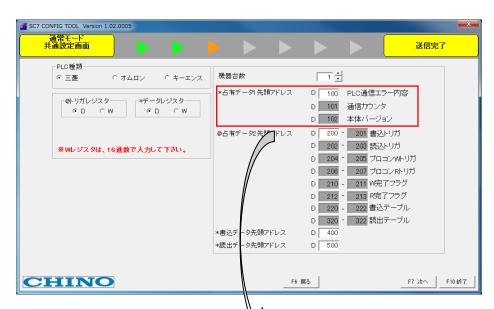
正常に戻れば SC7 よりレジスタを 0 クリアします。

10-6-2. トリガ以外の占有データ

SC7 はトリガ関係以外に次の3つのデータを必ず占有します。

- ・PLC 通信エラー内容
- 通信カウンタ
- ・ファームバージョン

占有データのアドレスは3データ連続で、先頭アドレスは初期設定で決めます。



占有データの詳細は次の通りになります。

PLC 通信エラー内容	D100
通信カウンタ	D101
ファームバージョン	D102

1. PLC 通信エラー内容

SC7 と PLC 間の通信エラー内容です。

通信エラー内容は数値でレジスタにセットされます。

(0:エラーなし)

-1:パリティエラー

2:否定応答

4:サムチェックエラー

_5:無応答

正常に戻れば SC7 よりレジスタを 0 クリアします。

2. 通信カウンタ

機器側の定常リードが1周すると1カウントアップするレジスタです。通信が正常に動いているか、定常リードが1周するのにどれくらい時間がかかるか確認するのに便利なレジスタです。

機能	範囲
通信カウンタ	0000(Hex)~FFFF(Hex)

- ・通信カウンタはバックアップを行いません。したがって電源投入時は必ず 0 からカウントアップします。
- ・カウントアップは FFFF の次は、また 0 に戻りカウントアップを継続します。

3. ファームバージョン

SC7 本体のファームウェアバージョン No.がセットされます。

【付録】トリガテーブル表 通常モード

トリガ先頭アドレス D 200

書込トリガテーブル

音心	<u> </u>			
D	220 機器アドレス01	リファレンス番号	パターンNo.	
D	221	データ個数	パターン数	1固定
D	222	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	· <u></u>
	223 機器アドレス02			
D		リファレンス番号	パターンNo.	4 EP C
D	224	データ個数	パターン数	1固定
D	225	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	226 機器アドレス03	リファレンス番号	パターンNo.	
D	227	データ個数	パターン数	1固定
D	228	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	1,70
D	229 機器アドレス04	リファレンス番号	パターンNo.	
				1 ED ED
D	230	データ個数	パターン数	1固定
D	231	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	232 機器アドレス05	リファレンス番号	パターンNo.	
D	233	データ個数	パターン数	1固定
D	234	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	235 機器アドレス06	リファレンス番号	パターンNo.	
	236	データ個数	パターン数	1固定
D D				1四化
	237	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	238 機器アドレス07	リファレンス番号	パターンNo.	
D D	239	データ個数	パターン数	1固定
D	240	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
	241 機器アドレス08	リファレンス番号	パターンNo.	
D D	242	データ個数	パターン数	1固定
D	243	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	ᄖᄯ
D	244 機器アドレス09	リファレンス番号	パターンNo.	
D	245	データ個数	パターン数	1固定
D	246	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	247 機器アドレス10	リファレンス番号	パターンNo.	
D	248	データ個数	パターン数	1固定
D	249	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	250 機器アドレス11	リファレンス番号	パターン№.	485
D	251	データ個数	パターン数	1固定
D	252	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	253 機器アドレス12	リファレンス番号	パターンNo.	
D	254	データ個数	パターン数	1固定
D	255	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	–
D	256 機器アドレス13	リファレンス番号	パターンNo.	
				1田中
D	257	データ個数	パターン数	1固定
D	258	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	259 機器アドレス14	リファレンス番号	パターンNo.	
D	260	データ個数	パターン数	1固定
D	261	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	262 機器アドレス15	リファレンス番号	パターンNo.	
D	263	データ個数	パターン数	1固定
D	264	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	·면사
D	265 機器アドレス16	リファレンス番号	パターン№.	, m.j.
D	266	データ個数	パターン数	1固定
D	267	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	268 機器アドレス17	リファレンス番号	パターンNo.	
D	269	データ個数	パターン数	1固定
D	270	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	271 機器アドレス18	リファレンス番号	パターンNo.	1日中
D	272	データ個数	パターン数	1固定
D	273	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	274 機器アドレス19	リファレンス番号	パターンNo.	
D	275	データ個数	パターン数	1固定
D	276	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
	-, ·	/ / IH/1/ I V/	・・・・フルピハーレハ	

D	277 機器アドレス20	リファレンス番号	パターンNo.	
D	278	データ個数	パターン数	1固定
D	279	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	280 機器アドレス21	リファレンス番号	パターンNo.	
D	281	データ個数	パターン数	1固定
D	282	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	283 機器アドレス22	リファレンス番号	パターンNo.	
D	284	データ個数	パターン数	1固定
D	285	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	286 機器アドレス23	リファレンス番号	パターンNo.	
D	287	データ個数	パターン数	1固定
D	288	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	289 機器アドレス24	リファレンス番号	パターンNo.	
D	290	データ個数	パターン数	1固定
D	291	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	292 機器アドレス25	リファレンス番号	パターンNo.	
D	293	データ個数	パターン数	1固定
D	294	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	295 機器アドレス26	リファレンス番号	パターンNo.	
D	296	データ個数	パターン数	1固定
D	297	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	298 機器アドレス27	リファレンス番号	パターンNo.	
D	299	データ個数	パターン数	1固定
D	300	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	301 機器アドレス28	リファレンス番号	パターンNo.	
D	302	データ個数	パターン数	1固定
D	303	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	304 機器アドレス29	リファレンス番号	パターンNo.	
D	305	データ個数	パターン数	1固定
D	306	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	307 機器アドレス30	リファレンス番号	パターンNo.	
D	308	データ個数	パターン数	1固定
D	309	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	310 機器アドレス31	リファレンス番号	パターンNo.	
D	311	データ個数	パターン数	1固定
D	312	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	

読出トリガテーブル

	320 機器アドレス01	ロコーレンフ妥り	LOCA NA	I I
D		リファレンス番号	パターンNo.	485
D	321	データ個数	パターン数	1固定
D	322	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	323 機器アドレス02	リファレンス番号	パターンNo.	
D	324	データ個数	パターン数	1固定
D	325	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	326 機器アドレス03	リファレンス番号	パターンNo.	
D	327	データ個数		1固定
D	328	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D		リファレンス番号	パターンNo.	
	329 機器アドレス04	リファレン人留写		1田亡
D	330	データ個数		1固定
D	331	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	332 機器アドレス05	リファレンス番号	パターンNo.	
D	333	データ個数		1固定
D	334	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	335 機器アドレス06	リファレンス番号	パターンNo.	
D	336	データ個数		1固定
D	337	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	338 機器アドレス07	リファレンス番号	パターンNo.	
D	339	データ個数	パターン数	1固定
D	340	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	341 機器アドレス08			
		リファレンス番号	パターンNo.	1田中
D	342	データ個数		1固定
D	343	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	344 機器アドレス09	リファレンス番号	パターンNo.	
D	345	データ個数		1固定
D	346	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	347 機器アドレス10	リファレンス番号	パターンNo.	
D	348	データ個数	パターン数	1固定
D	349	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	350 機器アドレス11	リファレンス番号	パターンNo.	
D	351	データ個数	パターン数	1固定
D	352	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	353 機器アドレス12	リファレンス番号	パターンNo.	
D				1田中
D	354 355	データ個数	パターン数	1固定
		データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	356 機器アドレス13	リファレンス番号	パターンNo.	
D	357	テータ個数	バターン数	1固定
D	358	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	359 機器アドレス14	リファレンス番号	パターンNo.	
D	360	データ個数	パターン数	1固定
D	361	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	362 機器アドレス15	リファレンス番号	パターンNo.	
D	363	データ個数	パターン数	1固定
D	364	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	365 機器アドレス16	リファレンス番号	パターンNo.	
D	366	データ個数	パターン数	1固定
D	367	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
	368 機器アドレス17			
D		リファレンス番号	パターンNo.	1田中
D	369	データ個数	パターン数	1固定
D	370	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	371 機器アドレス18	リファレンス番号 データ個数	パターンNo.	
D	372	データ個数	パターン数	1固定
D	373	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	374 機器アドレス19	リファレンス番号	パターンNo.	
D	375	データ個数	パターン数	1固定
D	376	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
	· · ·	1 IBOUT 1 1		

D	377 機器アドレス20	リファレンス番号	パターンNo.	
D	377 152和F アドレス20 378	データ個数	パターン数	1固定
D	379	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	380 機器アドレス21	リファレンス番号	パターンNo.	
D	381	データ個数	パターン数	1固定
D	382	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	TEL.
D	383 機器アドレス22	リファレンス番号	パターンNo.	
D	384	データ個数	パターン数	1固定
D	385	データ相対アドレス	<u> </u>	
D	386 機器アドレス23	リファレンス番号	パターンNo.	
D	387	データ個数	パターン数	1固定
D	388	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	389 機器アドレス24	リファレンス番号	パターンNo.	
D	390	データ個数	パターン数	1固定
D	391	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	, <u>m</u> , <u>c</u>
D	392 機器アドレス25	リファレンス番号	パターンNo.	
D	393	データ個数	パターン数	1固定
D	394	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	395 機器アドレス26	リファレンス番号	パターンNo.	
D	396	データ個数	パターン数	1固定
D	397	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	398 機器アドレス27	リファレンス番号	パターンNo.	
D	399	データ個数	パターン数	1固定
D	400	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	401 機器アドレス28	リファレンス番号	パターンNo.	
D	402	データ個数	パターン数	1固定
D	403	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	404 機器アドレス29	リファレンス番号	パターンNo.	
D	405	データ個数	パターン数	1固定
D	406	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	407 機器アドレス30	リファレンス番号	パターンNo.	
D	408	データ個数	パターン数	1固定
D	409	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	
D	410 機器アドレス31	リファレンス番号	パターンNo.	
D	411	データ個数	パターン数	1固定
D	412	データ相対アドレス	パターン配置アドレス	

【付録】トリガテーブル表 シンプルR/Wモード

トリガ先頭アドレス D 200

書込トリガテーブル

音及F	・リカテーノル		
D	220 機器アドレス01	パターンNo.	
D	221	パターン数	1固定
D	222	パターン配置アドレス	
D	223 機器アドレス02	パターンNo.	
D	224	パターン数	1固定
D	225		
		パターン配置アドレス	
D	226 機器アドレス03	パターンNo.	
D	227	パターン数	1固定
D	228	パターン配置アドレス	
D	229 機器アドレス04	パターンNo.	
D	230	パターン数	1固定
D	231	パターン配置アドレス	
D	232 機器アドレス05	パターンNo.	
D	233	パターン数	1固定
D	234	パターン配置アドレス	
	235 機器アドレス06		
D		パターンNo.	4 P A
D	236	パターン数	1固定
D	237	パターン配置アドレス	
D	238 機器アドレス07	パターンNo.	
D	239	パターン数	1固定
D	240	パターン配置アドレス	
D	241 機器アドレス08	パターンNo.	
D	242	パターン数	1固定
D	243	パターン配置アドレス	=
D	244 機器アドレス09	パターンNo.	
D	245	パターン数	1固定
D	246	パターン配置アドレス	
D	247 機器アドレス10	パターンNo.	
D	248	パターン数	1固定
D	249	パターン配置アドレス	「坦化
D	250 機器アドレス11	パターンNo.	L D D
D	251	パターン数	1固定
D	252	パターン配置アドレス	
D	253 機器アドレス12	パターンNo.	
D	254	パターン数	1固定
D	255	パターン配置アドレス	
D	256 機器アドレス13	パターンNo.	
D	257	パターン数	1固定
D	258	パターン配置アドレス	
D	259 機器アドレス14	パターンNo.	
D	260	パターン数	1固定
D	261	パターン配置アドレス	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
D	262 機器アドレス15	パターンNo.	
D	263	パターンNU. パターン数	1固定
D	264	パターン配置アドレス	I I II I
D	265 機器アドレス16	パターンNo.	
D	266	パターン数	1固定
D	267	パターン配置アドレス	
D	268 機器アドレス17	パターンNo.	
D	269	パターン数	1固定
D	270	パターン配置アドレス	
D	271 機器アドレス18	パターンNo.	
D	272	パターン数	1固定
D	273	パターン配置アドレス	
	210	・・・・ ~ 心 旦 ノーレハ	I I

D	274 機器アドレス19	パターンNo.		
D	275	パターン数	1固定	
D	276	パターン配置アドレス		
D	277 機器アドレス20	パターンNo.		
D	278	パターン数	1固定	
D	279	パターン配置アドレス		
D	280 機器アドレス21	パターンNo.		
D	281	パターン数	1固定	
D	282	パターン配置アドレス		
D	283 機器アドレス22	パターンNo.		
D	284	パターン数	1固定	
D	285	パターン配置アドレス		
D	286 機器アドレス23	パターンNo.		
D	287	パターン数	1固定	
D	288	パターン配置アドレス		
D	289 機器アドレス24	パターンNo.		
D	290	パターン数	1固定	
D	291	パターン配置アドレス		
D	292 機器アドレス25	パターンNo.		
D	293	パターン数	1固定	
D	294	パターン配置アドレス		
D	295 機器アドレス26	パターンNo.		
D	296	パターン数	1固定	
D	297	パターン配置アドレス		
D	298 機器アドレス27	パターンNo.		
D	299	パターン数	1固定	
D	300	パターン配置アドレス		
D	301 機器アドレス28	パターンNo.		
D	302	パターン数	1固定	
D	303	パターン配置アドレス		
D	304 機器アドレス29	パターンNo.		
D	305	パターン数	1固定	
D	306	パターン配置アドレス		
D	307 機器アドレス30	パターンNo.	1田中	
D D	308 309	パターン数 パターン配置アドレス	1固定	
D	310 機器アドレス31	パターンNo.	1田中	
D D	311 312	パターン数 パターン配置アドレス	1固定	
U	31 2	ハダーノ配直プトレス		

読出トリガテーブル

шлоши	リカナ			
D	320 村	幾器アドレス01	パターンNo.	
D	321		パターン数	1固定
D	322		パターン配置アドレス	
D		幾器アドレス02	パターンNo.	
		成品ノドレス02		4回户
D	324		パターン数	1固定
D	325		パターン配置アドレス	
D	326 村	幾器アドレス03	パターンNo.	
D	327		パターン数	1固定
D	328		パターン配置アドレス	
D		幾器アドレス04	パターンNo.	
D		及和アノアレスロー	<u>パターン数</u>	1固定
	330			「旦た」
D	331	W 88 13	パターン配置アドレス	
D		幾器アドレス05	パターンNo.	
D	333		パターン数	1固定
D	334		パターン配置アドレス	
D	335 🗚	幾器アドレス06	パターンNo.	
D	336	жин 7 1 2 1 100	パターン数	1固定
D	337		パターン配置アドレス	1BA
		丝型フドレフ へ7	-	
D		幾器アドレス07	パターンNo.	4 国 白
D	339		パターン数	1固定
D	340		パターン配置アドレス	
D	341 村	幾器アドレス08	パターンNo.	
D	342		パターン数	1固定
D	343		パターン配置アドレス	
D		幾器アドレス09	パターンNo.	
D	345		パターン数	1固定
D	346		<u>ハメーン </u>	「坦化
		# 00 - 121 - 10	-	
D		幾器アドレス10	パターンNo.	
D	348		パターン数	1固定
D	349		パターン配置アドレス	
D	350 村	幾器アドレス11	パターンNo.	
D	351		パターン数	1固定
D	352		パターン配置アドレス	- 1 2
D		幾器アドレス12	パターンNo.	
		灰伯ノドレヘロ		1日中
D	354		パターン数	1固定
D	355	W 88 13 1	パターン配置アドレス	
D		幾器アドレス13	パターン№.	
D	357		パターン数	1固定
D	358		パターン配置アドレス	
D	359 ₺	幾器アドレス14	パターンNo.	
D	360		パターン数	1固定
D	361		パターン配置アドレス	
D		幾器アドレス15	パターンNo.	
		灰砧ノドレヘロ		1田ウ
D	363		パターン数	1固定
D	364	W 55 1 3 -	パターン配置アドレス	
D		幾器アドレス16	パターンNo.	
D	366		パターン数	1固定
D	367		パターン配置アドレス	
D	368 *	幾器アドレス17	パターンNo.	
D	369	жни / 1 / / / / /	パターン数	1固定
D	370		ハメーン <u>級</u> パターン配置アドレス	· 띄ሊ
		然中ラバ ライ	·	
D		機器アドレス18	パターン№.	v m de
D	372		パターン数	1固定
D	373		パターン配置アドレス	
D	374 木	幾器アドレス19	パターンNo.	
D	375	•	パターン数	1固定
D	376		パターン配置アドレス	
<u> </u>	-, -			

D	377 機器アドレス20	パターンNo.	
D D	378 379	パターン数	1固定
		パターン配置アドレス	
D	380 機器アドレス21	パターンNo.	
D	381	パターン数	1固定
D	382	パターン配置アドレス	
D	383 機器アドレス22	パターンNo.	
D	384	パターン数	1固定
D	385	パターン配置アドレス	
D	386 機器アドレス23	パターンNo.	
D	387	パターン数	1固定
D	388	パターン配置アドレス	
D	389 機器アドレス24	パターンNo.	
D	390	パターン数	1固定
D	391	パターン配置アドレス	
D	392 機器アドレス25	パターンNo.	
D	393	パターン数	1固定
D	394	パターン配置アドレス	
D	395 機器アドレス26	パターンNo.	
D	396	パターン数	1固定
D	397	パターン配置アドレス	
D	398 機器アドレス27	パターンNo.	
D	399	パターン数	1固定
D	400	パターン配置アドレス	
D	401 機器アドレス28	パターンNo.	
D	402	パターン数	1固定
D	403	パターン配置アドレス	
D	404 機器アドレス29	パターンNo.	
D	405	パターン数	1固定
D	406	パターン配置アドレス	
D	407 機器アドレス30	パターンNo.	
D	408	パターン数	1固定
D	409	パターン配置アドレス	
D	410 機器アドレス31	パターンNo.	
D	411	パターン数	1固定
D	412	パターン配置アドレス	

【付録】トリガテーブル表 互換モード

トリガ先頭アドレス D 200

トリガテーブル一覧

<u>トリカ</u>	テーフル一覧		
D	200 空き	空き	予約レジスタ
D	201		予約レジスタ
D	202 機器アドレス01	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	203		ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	204	ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	205		パラメータ個数
D	206		データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D	207 機器アドレス02	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	208		ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	209	ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	210	711177311272	パラメータ個数
D	211		データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D	212 機器アドレス03	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	213		ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	214	ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	215		パラメータ個数
D	216		データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D	217 機器アドレス04		ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	217 (成品 アトレス04 218)	ノコココソル保TF 	フィトトリガ元 」コート (T: 成功/ 2: 天敗) ライトトリガ起動 (1セットで書込)
D	219	ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D		ノイトトリル設定	パラメータのサファレンス番号
D	220 221		データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
		ᆜ ᆜᆖᄼᆝᆝᅛᅜᅜᇛ <i>ᆙ</i> ᇊ	
D	222 機器アドレス05	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	223	ᆖᄼᆝᆝᅜᆥᇌᅌ	ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	224	ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	<u>225</u> 226		パラメータ個数
D			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D	227 機器アドレス06	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	228		ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	229	ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	230		パラメータ個数
D	231	- 411.1199	データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D	232 機器アドレス07	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	233	- /	ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	234	ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	235		パラメータ個数
D	236		データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D	237 機器アドレス08	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	238		ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	239	ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	240		パラメータ個数
D	241		データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D	242 機器アドレス09	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	243		ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	244	ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	245		パラメータ個数
D	246		データ相対アドレス(ライトデータの相対値)

	0.47			
D D		機器アドレス10	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	248 249		ライトトリガ設定	ライトトリガ起動(1セットで書込) パラメータのリファレンス番号
D	250		フィトトリカ設定	パラメータ個数
D	251			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D		機器アドレス11	<u> </u> ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	253	放命プトレヘコ	ノイトトリル 採1F 	ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	254		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	255		フィトトリカ設定	パラメータ個数
D	256			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D		機器アドレス12	」 ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	258	放台ノドレベ 2	ノイドアル採作	ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	259		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	260			パラメータ個数
D	261			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D		機器アドレス13	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	263		プリドアル 	ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	264		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	265			パラメータ個数
D	266			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D		機器アドレス14	 ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	268			ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	269		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	270			パラメータ個数
D	271			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D		機器アドレス15	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	273			ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	274		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	275			パラメータ個数
D	276			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D		機器アドレス16	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	278			ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	279		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	280			パラメータ個数
D	281			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D		機器アドレス17	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	283	12 THE 2 THE 2 THE 2 THE 2	J I I I J J J J K I I	ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	284		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	285			パラメータ個数
D	286			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D		機器アドレス18	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	288		, in the second second	ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	289		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	290			パラメータ個数
D	291			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D	292	機器アドレス19	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	293			ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	294		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	295			パラメータ個数
D	296			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D	297	機器アドレス20	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D	298			ライトトリガ起動(1セットで書込)
D	299		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D	300			パラメータ個数
D	301			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)

□ 303	Б	200		ニノレリギ婦佐	
□ 304 □ 305 □ 306 □ 307 □ 305 □ 306 □ 307 □ 307 □ 307 □ 307 □ 307 □ 307 □ 307 □ 307 □ 307 □ 307 □ 307 □ 307 □ 308 □ 309 □ 310 □ 310 □ 310 □ 311 □ 311 □ 312 □ 313 □ 314 □ 315 □ 316 □ 316 □ 317 □ 318 □ 318 □ 319 □ 320 □ 321 □ 321 □ 322 □ 323 □ 324 □ 322 □ 323 □ 324 □ 325 □ 326 □ 327 □ 328 □ 328 □ 329 □ 330 □ 331 □ 331 □ 331 □ 331 □ 331 □ 332 □ 333 □ 331 □ 332 □ 333 □ 331 □ 332 □ 333 □ 331 □ 332 □ 333 □ 331 □ 332 □ 333 □ 331 □ 332 □ 333 □ 331 □ 332 □ 333 □ 334 □ 335 □ 334 □ 334 □ 335 □ 334 □ 334 □ 335 □ 334 □ 334 □ 335 □ 336 □ 337 □ 338 □ 334 □ 337 □ 338 □ 334 □ 337 □ 338 □ 334 □ 337 □ 338 □ 334 □ 338 □ 334 □ 335 □ 336 □ 337 □ 338 □ 334 □ 335 □ 336 □ 337 □ 338 □ 338 □ 339 □ 330 □ 331 □ 331 □ 332 □ 333 □ 334 □ 334 □ 335 □ 334 □ 334 □ 334 □ 335 □ 335 □ 336 □ 337 □ 338 □ 336 □ 337 □ 338 □ 337 □ 338 □ 338 □ 339 □ 330 □ 331 □ 331 □ 332 □ 333 □ 334 □ 341 □ 342 □ 343 □ 344 □ 345 □ 346 □ 347 □ 348 □ 348 □ 349 □ 349 □ 340 □ 341 □ 342 □ 348 □ 349 □ 340 □ 341 □ 342 □ 348 □ 349 □ 340 □ 341 □ 342 □ 343 □ 344 □ 345 □ 346 □ 347 □ 348 □ 348 □ 349 □ 340 □ 340 □ 341 □ 342 □ 343 □ 344 □ 345 □	D		(依 谷 プ ト レ 人 2	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D 305 バラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ライトリガ起動(1セットで書込) D 307 機器アドレス22 D 308 ブイトリガ記動(1セットで書込) D 310 フイトリガ設定 D 311 ボラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 312 機器アドレス23 D 315 ブイトリガ設定 D 317 機器アドレス24 D 317 機器アドレス24 D 318 ブイトリガ設定 D 317 機器アドレス24 D 320 ブイトリガ設定 D 321 ブイトリガ設定 D 322 機器アドレス25 D 321 ブイトリガ設定 D 322 機器アドレス25 D 323 機器アドレス26 D 321 ブイトリガ設定 フイトリガ設定 ブライトリガ設度 ブライトリガ設度 ブライトリガ設値 フイトリガ設度 ブライトリガ設度 フイトリガ設度 ブライトリガ設度 フイトリガ設動(1セットデータの相対値) フィトトリガ設度 フィトリガルアンシス番号 ブライトリガ設度 フィトリガ設度 ブライトリガ設度 フィトリガ設度 ブライトリガ設度 フィトリガルアンシスを扱り フィトトリガルアンシスを扱り フィトリガルアンシスを扱り フィトトリガ設度 <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td>ライトトロガシウ</td><td></td></t<>				ライトトロガシウ	
□ 306					
D 307					
□ 308 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 309 □ 311 □ 312 □ 312 □ 312 □ 315 □ 315 □ 316 □ 317 □ 316 □ 317 □ 318 □ 317 □ 318 □ 318 □ 319 □ 319 □ 320 □ 321 □ 321 □ 322 □ 321 □ 322 □ 321 □ 322 □ 322 □ 321 □ 322 □ 322 □ 323 □ 324 □ 325 □ 326 □ 327 □ 328 □ 328 □ 329 □ 330 □ 331 □ 332 □ 333 □ 333 □ 333 □ 333 □ 333 □ 334 □ 335 □ 336 □ 337 □ 338 □ 338 □ 339 □ 340 □ 340 □ 341 □ 342 □ 345 □				ライトトリガ操作	
□ 309 □ 310 □ 311 □ 311 □ 311 □ 312 □ 312 □ 313 □ 314 □ 315 □ 316 □ 317 □ 317 □ 318 □ 317 □ 318 □ 318 □ 319 □ 320 □ 321 □ 322 □ 321 □ 322 □ 322 □ 322 □ 322 □ 322 □ 323 □ 324 □ 325 □ 326 □ 327 □ 328 □ 328 □ 329 □ 329 □ 320 □ 321 □ 321 □ 322 □ 322 □ 322 □ 322 □ 322 □ 324 □ 325 □ 326 □ 327 □ 328 □ 328 □ 328 □ 328 □ 328 □ 328 □ 329 □ 320 □ 321 □ 321 □ 322 □ 322 □ 324 □ 325 □ 326 □ 327 □ 328 □ 328 □ 328 □ 328 □ 328 □ 329 □ 329 □ 320 □ 321 □ 321 □ 322 □ 322 □ 324 □ 325 □ 326 □ 327 □ 328 □ 328 □ 329 □ 329 □ 329 □ 329 □ 320 □ 321 □ 321 □ 322 □			が成功のプログスとと		
□ 310				ライトトリガ設定	
□ 311					パラメータ個数
D 312 機器アドレス23 ライトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータの関数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ライトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記力では1セットで書込) グライトリガ記力では1セットで書込) クイトリガ記力では1セットで書込 クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) クイトリガ記動(1セットで書込) グラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのカイトリガ記動(1セットで書込) グライトリガ記動(1セットで書込) グライトリガ記動(1セットで書込) グライトリガ記動(1セットで書込) グライトリガ記動(1セットで書込) グライトリガ記動(1セットで書込) グラメータのカイトリガ記動(1セットで書込) グライトリガ記動(1セットで書込) グラメータのカイトリガ記動(1セットで書込) パラメータのカイト・フタの相対値) ウイトトリガ記動(1セットで書込) パラメータのカイト・フタの相対値) ウイトトリガ記動(1セットで書込) パラメータのカイト・ファンス番号 パラメータのカイト・フタの相対値) ウイトトリガ記動(1セットで書込) パラメータの数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ウイトトリガ記動(1セットで書込) パラメータの数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ウイトトリガ記動(1セットで書込) パラメータのカイト・ファンス番号 パラメータのカファンス番号 アイトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) グライトリガ記動(1セットで書込) グライトリガ記動(1セットで書込) フィトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記載 (1セットで書込) フィトトリガ記載 (1セットで書込) フィトトリガ記載 (1セットで書込) フィトトリガ記載 (1セットで書込) フィトリガ記載 (1セットで書込) フィトリガ記載 (1セットで書込) フィトリガ記載 (1セットで書込) フィトリガ記載 (1セットで書込) フィトリガ記載 (1セットで書込) フィトリガロス (1セットで書込) フィトリガロス (1セットで書込) フィトリガロス (1セットで書込) フィース (1セットで書込) フィトリガロス (1セットで書込) フィース (1セット・ファース (1・アース) (1・アース					データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D 314 D 314 D 314 D 315 D 316 D 316 D 316 D 316 D 316 D 316 D 317 M 2 317 M 2 318 D 318 D 329 M 2 321 M 2 322 M 2 321 M 2 322 M 2 322 M 2 323 M 2 323 M 2 324 D 322 M 2 222			機器アドレス23	ライトトリガ操作	
□ 314 □ 315 □ 316 □ 317 □ 318 □ 317 □ 318 □ 317 □ 318 □ 319 □ 320 □ 320 □ 321 □ 322 □ 322 □ 322 □ 323 □ 324 □ 325 □ 326 □ 327 □ 328 □ 328 □ 328 □ 328 □ 328 □ 328 □ 329 □ 329 □ 329 □ 330 □ 331 □ 332 □ 333 □ 334 □ 335 □ 336 □ 341 □ 341 □ 342 □ 343 □ 342 □ 343 □ 344 □ 348 □ 348 □ 348 □ 349 □ 349 □ 349 □ 350 □ 351 □ 352 □ 353 □ 354 □ 355 □			1/2 11 7 1 2 7 1 2 0		
□ 315 □ 316 □ 317 機器アドレス24 □ ライトトリガ操作 □ 318 □ 319 □ 320 □ 320 □ 321 □ 321 □ 322 □ 323 □ 323 □ 323 □ 323 □ 323 □ 324 □ 325 □ 326 □ 327 □ 328 □ 329 □ 329 □ 329 □ 329 □ 320 □ 321 □ 328 □ 328 □ 329 □ 329 □ 329 □ 329 □ 329 □ 329 □ 329 □ 329 □ 330 □ 331 □ 332 □ 333 □ 332 □ 332 □ 333 □ 332 □ 332 □ 333 □ 332 □ 332 □ 333 □ 333 □ 333 □ 333 □ 334 □ 335 □ 336 □ 337 □ 337 □ 338 □ 338 □ 338 □ 339 □ 331 □ 332 □ 338 □ 338 □ 338 □ 339 □ 340 □ 341 □ 342 □ 342 □ 343 □ 344 □ 345 □ 345 □ 345 □ 346 □ 347 □ 348 □ 348 □ 349 □ 340 □ 341 □ 342 □ 342 □ 343 □ 344 □ 345 □ 345 □ 345 □ 346 □ 347 □ 348 □ 348 □ 349 □ 349 □ 350 □ 351 □ 352 □ 353 □ 352 □ 355				ライトリガ設定	
□ 316					
D 317					
D 318 D 319 D 320 D 321 D 320 D 321 D 321 D 321 D 322 機器アドレス25 D 323 D 324 D 325 D 326 D 326 D 327 D 328 M 327 D 328 D 329 D 330 D 331 D 331 D 331 D 331 D 332 M 332 M 332 D 333 M 334 D 333 M 334 D 335 D 336 D 337 M 337 M 338 D 338 D 339 D 340 D 341 D 342 D 342 D 342 D 342 D 342 D 343 D 344 D 345 D 345 D 346 D 347 M 348 D 349 D 349 D 350 D 351 M 351 D 352 M 355 D 353 M 351 D 352 M 355 D 353 D 353 M 351 D 352 M 355 D 353 D 354 D 355	D	317	機器アドレス24	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D 319 D 320 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータの相対値) デッタ相対ドレス(ライトデータの相対値) ライトトリガ設定 ライトトリガ設で ライトトリガ記動(1セットで書込) パラメータのリファレンス番号 パラメータの関数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ライトトリガ設定 パラメータの関数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ライトトリガ設定 ライトトリガ設定 ライトトリガ設で フィトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ設定 フィトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ設章 パラメータの個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ライトトリガ設章 パラメータの側数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータの側数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータの側数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ設定 パラメータの側数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ設面(1セットで書込) フィトトリガ設面(1セットで書込) フィトトリガ設面(1セットで書込) アライトトリガ記動(1セットで書込) アラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ記動(1セットで書込) アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ記動(1セットで書込) アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ記動(1セットで書込) アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ記動(1セットで書込) アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ記動(1セットで書込) アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィトトリガ記動(1セットで書込) アータ相対アドレス(フィトデータの相対値) フィトトリガ記動(1セットで書込) アータ相対アドレス(フィトデータの相対値) フィトトリガ記動(1セットで書込) アーターのリファレンス番号 アーターのリファレンス 番号 アーターの オーターの オータ	D				
D 320 D 321 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 322 機器アドレス25 D 324 D 325 D 326 D 326 D 326 D 327 機器アドレス26 D 327 機器アドレス26 D 329 D 330 D 331 D 331 D 332 機器アドレス27 D 333 D 333 D 334 D 333 D 334 D 335 D 336 D 331	D	319		ライトトリガ設定	
D 322 機器アドレス25 ライトリガ操作 ライトリガ記動(1セットで書込) D 323 D 325 D 325 D 326 D 327 世界のリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 ライト・リガ操作 ライト・リガ設定 ライト・リガ記動(1セットで書込) ライト・リガ設定 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 330 D 331 D 333 D 333 D 333 D 334 D 333 D 340 D 341 D 342 世界の サイト・リガ設定 ライト・リガ設定 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ライト・リガ設定 データイト・リガシアータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 </td <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	D				
D 323 D 324 D 325 D 326 D 326	D				データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D 324 D 325 D 326 D 325 D 326 D 326 D 326 D 327 機器アドレス26	D	322	機器アドレス25	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D 325 D 326 D 326 D 326 D 327 機器アドレス26 D 327 機器アドレス26 D 329 D 330 D 331	D	323			ライトトリガ起動(1セットで書込)
D 326 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 327 機器アドレス26 ライトトリが操作 ライトリが完了コード(1:成功/2:失敗) ライトリが完了コード(1:成功/2:失敗) ライトリが完了コード(1:成功/2:失敗) ライトリが完了コード(1:成功/2:失敗) ライトリが設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 ア・ク・イトリが完了コード(1:成功/2:失敗) ライトリが完了コード(1:成功/2:失敗) ライトリが完了コード(1:成功/2:失敗) ライトリが記しています。 ア・ク・イトリカ・ファレンス番号 ア・ク・イトリカ・ファレンス番号 ア・ク・イトリカ・ファレンス番号 ア・ク・イトリガ・ア・ク・イト・リカ・ファレンス番号 ア・ク・イト・リカ・ファレンス番号 ア・ク・ク・ファレンス番号 ア・ク・イト・リカ・ファレンス番号 ア・ク・オータのリファレンス番号 ア・ク・イト・リカ・ファレンス番号 ア・ク・オータのリファレンス番号 ア・ク・ク・ファレンス番号 ア・ク・イト・リカ・フェード(1:成功/2:失敗) ライト・リカ・フェード(1:成功/2:失敗) ライト・リカ・フェード(1:成功/2:失敗) ライト・リカ・フェート・リカ・フェート・フェート・ファレンス番号 ア・ク・ク・ファレンス番号 ア・ク・ファレンス番号 ア・ク・フェート・リカ・フェート・ア・	D	324		ライトトリガ設定	パラメータのリファレンス番号
D 327 D 328 D 329 D 330 D 331 D 331 D 332 D 333 D 333 D 334 D 335 D 336 D 337 D 337 D 338 D 338 D 339 D 340 D 341 D 341 D 341 D 341 D 341 D 341 D 341 D 341 D 341 D 342 D 343 D 346 D 347 D 348 D 348 D 348 D 349 D 349 D 349 D 349 D 340 D 341 D 341 D 342 D 343 D 345 D 346 D 347 D 348 D 348 D 348 D 349 D 349 D 340 D 341 D 345 D 346 D 347 Mc Warrivasa D 348 D 349 D 349 D 349 D 340 D 341 D 345 D 346 D 347 D 348 D 348 D 348 D 349 D 349 D 350 D 350 D 351 D 352 Mc Warrivasa D 348 D 349 D 355 ライトリガ操作 ライトリガ操作 ライトリガ操作 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガシス番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる番号 パラメータのリファレンスる アラストリガシロシスを アラストリガシロシスを アラストリガシロシスを アラストリブタストリファレンスる アラストリブタストリファレンスる アラストリブタストリファレンスる アラストリブタのリファレンスる アラストリブタストリブタストリブタストリブタストリファレンスる アラストリブタストリファレンスる アラストリブタストリファレンスる アラストリブタストリブタストリブタストリブタストリブタストリブタストリブタストリファレストリブタストリファレストリブタストリブタストリファレストリブタストリブタストリファレストリブタストリファレストリブトリブタストリファレストリブトリブタストリブトリブトリブトリブトリブトリブトリブトリブトリブトリブトリブトリブトリブト					パラメータ個数
D 328 ライトトリガ起動(1セットで書込) D 329 ライトトリガ設定 D 330 パラメータのリファレンス番号 D 331 プイトトリガ操作 D 332 機器アドレス27 D 333 ライトトリガ操作 D 335 ライトリガ設定 D 336 ライトリガ設定 D 337 機器アドレス28 D 338 ライトリガ操作 D 340 ライトリガ設定 D 341 ライトリガ設定 D 342 機器アドレス28 D 343 ライトリガ設定 D 344 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 345 ライトリガ操作 D 345 ライトリガ設定 D 346 ライトリガ設定 D 347 機器アドレス30 D 348 ライトリガ設定 D 349 ライトリガシークのリファレンス番号 D 350 ライトリガ設定 D 351 ライトリガシークのリファレンス番号 D 352 機器アドレス31 ライトリガ操作 ライトリガシークのリファレンス番号 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ライトリガシータの数 データ相対アドレス(ライトデータの相対の/2:失敗) ライトリガシークのりファレンス番号 データ相対アドレス(ライトデータの相対の/2:失敗) ライトリガシに ライトリガシに <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>データ相対アドレス(ライトデータの相対値)</td>	D				データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D 329 D 330 D 331 D 331 D 331		327	機器アドレス26	ライトトリガ操作	
D 330 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 332 D 333 D 335 D 336 機器アドレス27 ライトトリガ設定 ライトトリガ操作 ライトトリガ設動(1セットで書込) D 335 D 336 ライトトリガ操作 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータの相対値) D 337 D 338 D 339 D 340 D 341 ライトトリガ操作 ライトトリガ設定 ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) D 342 D 343 D 344 D 345 D 346 ライトトリガ操作 ライトトリガ設定 ライトトリガ記面(1セットで書込) ライトトリガ記面(1セットで書込) D 347 M器 アドレス30 D 348 D 349 D 350 D 351 ライトトリガ操作 ライトトリガ設定 ライトトリガ記面(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) D 347 M器 アドレス31 D 353 D 354 D 355 ライトトリガ操作 ライトトリガ設定 ライトトリガ記面(1セットで書込) ライトトリガ記面(1セットで書込) ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ完計量(1セットで書込) D 353 D 354 D 355 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数					
D 331 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 332 機器アドレス27 ライトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 335 アラメータのリファレンス番号 D 336 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 337 機器アドレス28 ライトトリガ操作 ライトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 339 ライトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 340 ライトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 341 ライトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 343 ライトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 345 ライトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 346 ライトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 348 ウイトトリガ設定 アーターのリファレンス番号 アーターの				ライトトリガ設定	
D 332 機器アドレス27 ライトリガ操作 ライトトリガ記つ(1セットで書込) D 333 D 334 D 335 D 336 D 337 D 338 D 339 D 340 D 341 D 342 D 343 D 343 D 343 D 344 D 345 D 346 D 347 D 348 D 349 D 349 D 349 D 349 D 350 D 351 D 352 () () () () () () () () () () () () () () () <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>					
D 333 D 334 D 334 D 335 D 336 D 336 D 336 D 336 D 336 D 337 d					
D 334 D 335 D 336 D 337 機器アドレス28 ライトリガ操作 ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記力 パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) フイトトリガ設定 ライトトリガ記動(1セットで書込) フイトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ設力 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 ライトトリガ混動(1セットで書込) フイトトリガ記力(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記力が記動(1セットで書込) ライトトリガ記力が記動(1セットで書込) フィータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィータ相対アドレス(ライトデータの相対値) ライトトリガ記力が記動(1セットで書込) フィータ目数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィータ目数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) フィータ目数 データを開放してまりで書込) フィータのリファレンス番号 フィートリガ記動(1セットで書込) フィータのリファレンス番号 フィート・リガ記動(1セットで書込) フィータのリファレンス番号 フィート・リガ記動(1セットで書込) フィータのリファレンス番号 フィート・リガ記動(1セットで書込) フィータのリファレンス番号 フィート・リガ記動(1セットで書込) フィータのリファレンス番号 フィート・リガ記動(1セットで書込) フィータのリファレンス番号 <td< td=""><td></td><td></td><td>機器アドレス27</td><td> ライトトリカ操作</td><td></td></td<>			機器アドレス27	ライトトリカ操作	
D 335 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 337 D 338 D 339 D 340 D 341 機器アドレス28 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガ設定 ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ設で ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) D 352 D 353 D 354 D 355 機器アドレス31 ライトリガ設定 ライトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記ののリファレンス番号 ライトトリガ記ののリファレンス番号 ライトトリガ記ののリファレンス番号 ライトトリガ記ののリファレンス番号 ライトトリガ記ののリファレンス番号 アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・アース・					フイトトリカ起動(1セットで書込)
D 336 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 337 機器アドレス28 ライトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 338 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 340 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 341 ライトトリガ操作 ライトトリガ記ラード(1:成功/2:失敗) D 343 ライトトリガ設定 ライトトリガ記ラード(1:成功/2:失敗) D 344 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 345 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 347 機器アドレス30 ライトトリガ操作 ライトトリガ記ラード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) フイトトリガ記動(1セットで書込) D 350 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) フイトトリガ記ラーコード(1:成功/2:失敗) D 352 機器アドレス31 ライトトリガ操作 フイトトリガ記面(1セットで書込) D 353 フイトトリガ設定 フイトトリガ記面(1セットで書込) フイトトリガ記面(1セットで書込) フイトトリガ記の(1セットで書込) フイトトリガ記面(1セットで書込) フイトトリガ記の(1セットで書込) フイトトリガ記の(1セットで書込) フイトトリガ記の(1セットで書込) フイトトリガ記の(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記の(1セットで書込) フィトトリガ記の(1セットで書込) フィトトリガ記の(1セットで書込) フィトトリガ記の(1セットで書込) フィトトリガ記の(1セットで書込) フィトトリガ記の(1セットで書込) フィトリガン				フイトトリカ設定	
D 337 機器アドレス28 ライトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 338 ライトリガ記動(1セットで書込) ライトリガ記動(1セットで書込) D 340 アラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 343 ライトリガ設定 ライトリガ記動(1セットで書込) D 345 ライトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 345 フイトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 348 フイトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 349 フイトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 350 フイトトリガ設定 アラメータのリファレンス番号 D 350 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 352 機器アドレス31 ライトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 353 フイトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) D 354 フイトトリガ記動(1セットで書込) D 355 フイトトリガ設定 アクメータのリファレンス番号 フィトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) フィータのリファレンス番号 フィーターのリファレンス番号 フィーターのリファレンス番号 フィーターのリファレンス番号 フィーターのリファレンス番号 フィーターのリファレンス番号 フィーターのリファレンス番号 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>					
D 338 ライトトリガ設動(1セットで書込) D 340 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 341 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 342 機器アドレス29 ライトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 345 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 345 アクタのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 D 347 機器アドレス30 ライトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 348 ライトトリガ設定 アイトトリガ記動(1セットで書込) D 350 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 351 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 352 機器アドレス31 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) アクトトリガ記動(1セットで書込) フィトトリガ記の(1セットで書込) アクトトリガ記の(1セットで書込) フィトトリガ記の(1セットで書込) アクトトリガ記の(1セットで書込) フィトトリガ記動(1セットで書込) アクトトリガ記動(1セットで書込) フィト・リガ記の(1セットで書込) アクトトリガ記の(1セットで書込) フィト・リガ記の(1セットで書込) アクト・リガ記の(1セットで書込) フィト・リガ記の(1セットで書込) アクト・リガ記の(1・ロットで書込) フィト・リガ記の(1セットで書込) アクト・リガ記の(1・ロットで書込) フィト・リガロの(1・ロットで書)) アクト・リガロの(1・ロットで書)) <td></td> <td></td> <td>米型マバーマの</td> <td></td> <td></td>			米型マバーマの		
D 339 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 340 万メータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 341 一方イトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ記動(1セットで書込) D 343 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 345 フイトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 347 機器アドレス30 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトリガ記動(1セットで書込) D 348 フイトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 350 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 351 ライトトリガ設定 パラメータ個数 D 352 機器アドレス31 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ記動(1セットで書込) D 353 フィトトリガ記章 アクメータのリファレンス番号 フィトトリガ記動(1セットで書込) アクメータのリファレンス番号 フィートトリガ記動(1セットで書込) アクメータのリファレンス番号 フィートトリガシータのリファレンス番号 アクメータのリファレンス番号 フィートトリガミないのよりに対します。 アクメータのリファレンス番号 フィートトリガミのリファレンス番号 アクメータのリファレンス番号 フィートトリガシータのリファレンス番号 アクメータのリファレンス番号 フィートトリガニのよりに対します。 アクリファレンス番号 フィートトリガニのよりに対します。 アクリファレンス番号 フィート・ファント・ファント・ファント・ファント・ファント・ファント・ファント・ファン			(機器プトレス28	プイトトリル探作	
D 340 パラメータ個数 D 341 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 342 機器アドレス29 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 343 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 345 ア・タ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 347 機器アドレス30 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 348 ライトリガ設定 ア・ラメータのリファレンス番号 D 350 ア・タ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 351 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 353 ライトトリガ設定 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 354 フイトトリガ設定 ア・フィトトリガ設定 D 354 フィトトリガ設定 ア・フィータのリファレンス番号 フィトトリガ設定 ア・フィータのリファレンス番号 ア・フィータのリファレンス番号 ア・フィータのリファレンス番号 ア・フィータのリファレン				ニノレリガシウ	
D 341 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 342 機器アドレス29 ライトトリガ操作 ライトトリガ記動(1セットで書込) D 344 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 345 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 347 機器アドレス30 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 348 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 350 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 351 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 352 機器アドレス31 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 353 フイトトリガ設定 フイトトリガ記動(1セットで書込) D 354 フイトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 355 フイトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 フィトトリガシータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 フィトトリガシータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 フィトトリガシータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 フィトトリカのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 カータのリファレンス番号 ア・ファレンス番号 カータのリファレンス番号 ア・ファレンス番号 カータのリファレンス番号 ア・ファレンス番号 フ				フィトトリカ設定	
D 342 機器アドレス29 ライトリガ操作 ライトリガ記動(1セットで書込) D 344 ライトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 345 ライトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ記動(1セットで書込) D 348 ライトトリガ設定 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 350 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 353 機器アドレス31 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) D 354 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号					
D 343 D 344 D 345 D 345 D 346 D 347 D 348 D 348 D 349 D 350 D 351 D 352 D 353 D 353 D 354 D 355				ライトトリガ場作	
D 344 D 345 D 346 D 347 D 347 D 348 D 349 D 350 D 350 D 351 D 352 機器アドレス31 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1: 成功/2: 失敗) ライトトリガテアンコード(1: 成功/2: 失敗) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記力 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数			INCTRI / I V / \CU		
D345 D346パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値)D347 D機器アドレス30ライトトリガ操作 ライトリガ設定 ライトリガ設定 フイトリガ設定 アラメータのリファレンス番号 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値)D350 Dライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) ライトトリガ記動(1セットで書込) フイトリガ記動(1セットで書込) フイトリガシータのリファレンス番号 パラメータのリファレンス番号 パラメータ側数				ライトトリガ設定	
D 346 データ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 347 機器アドレス30 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 348 ライトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 350 アータ相対アドレス(ライトデータの相対値) D 351 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 353 ライトトリガ設定 フイトトリガ記動(1セットで書込) D 354 ライトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 D 355 アクメータのリファレンス番号 パラメータ個数 パラメータ個数					
D 347 機器アドレス30 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 348 フイトトリガ設立 パラメータのリファレンス番号 D 350 パラメータ個数 D 351 ライトトリガ操作 ライトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 352 機器アドレス31 ライトトリガ操作 ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) D 353 ライトリガ設定 フイトトリガ記動(1セットで書込) D 355 フイトトリガ設定 パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数					
D348ライトリガ起動(1セットで書込)D349ライトリガ設定パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値)D351ライトトリガ操作ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ起動(1セットで書込)D353ライトトリガ設定パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数			機器アドレス30	ライトトリガ操作	
D349 Dライトトリガ設定 パラメータ個数 データ相対アドレス(ライトデータの相対値)D351ライトトリガ操作 ライトトリガ起動(1セットで書込)D353 Dライトトリガ設定 ライトトリガ設定 アラメータのリファレンス番号 パラメータ個数			HEVER TO THE PARTY OF THE PARTY		
D350パラメータ個数D351データ相対アドレス(ライトデータの相対値)D352機器アドレス31ライトトリガ操作ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗) ライトトリガ起動(1セットで書込)D353ライトトリガ設定パラメータのリファレンス番号 パラメータ個数				ライトトリガ設定	
D351データ相対アドレス(ライトデータの相対値)D352 機器アドレス31ライトトリガ操作ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)D353ライトトリガ起動(1セットで書込)D354ライトトリガ設定パラメータのリファレンス番号D355パラメータ個数					
D353ライトリガ起動(1セットで書込)D354ライトトリガ設定パラメータのリファレンス番号D355パラメータ個数	D				データ相対アドレス(ライトデータの相対値)
D353ライトトリガ起動(1セットで書込)D354ライトトリガ設定パラメータのリファレンス番号D355パラメータ個数	D	352	機器アドレス31	ライトトリガ操作	ライトトリガ完了コード(1:成功/2:失敗)
D 355 パラメータ個数	D				ライトトリガ起動(1セットで書込)
	D			ライトトリガ設定	
D 956					
ひ 350 オーダ伯列アトレス(フィトナーダの伯列恒)	D	356			データ相対アドレス(ライトデータの相対値)

【付録】 プログラムパターンテーブル(KP1000C/KP2000)

ステップ共通パラメータ

7 1 7 7	<u> </u>	• //							_
STEP	パターンNo.	(0)SVスタート	ステップ数	PTNリンク先	スタートSV	リセットSV	終了時出力OUT1	終了時出力OUT2	Ì
STEP	(1~30)	(1)PVスタート	(0~19)	(0~30)	(-19999~30000)	(-19999~30000)	(-50~1050)	(-50 ~ 1050)	
0									
		$\overline{}$			^	^			4041 181
-		,		·	Z	3	4	5	── 相対アドレス
L								L	

ステップ毎パラメータ

	<u>ヘナツ</u>	ノ毋ハ、	<u> ノハーラ</u>												
	STEP	設定 (-19999·				[分] ·59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し			警報No. 出力パットNo. (0,1~8) (0,1~8)		出力プリセットNo (0,1~8)	. センサ補正No. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)	
	1														
_		6			7		3	()		10	1	1	1:	2
		実温度補償No. (0,1~8)	待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT No. TS (0,1~8) No.1		TS TS No.2 No.3		TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
		13		14		1	5	1	6		17	1	18		

STEP	設定値SV (−19999~30000)				時間 (0~		ステップリピート (0)開始(FF)無し			警報No. 出力リミットNo. (0,1~8) (0,1~8)		変化量リミットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)		ARW No. (0,1~8)
2														
	実温度補價Na (0,1~8) (0,1~8)		2	0	2	1	2	2		23	2	24	2	5
			SUBOUT №. (0.1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
			2			8	2			30		31		

	STEP	設定値SV (-19999~30000)		時間[時] (0~999)					ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)		出力リミットNo. (0,1~8)	変化量リミットNo. (0,1~8)	出力プリセットNo. (0,1~8)	センサ補正No. (0,1~8)	ARW №. (0,1~8)
	3														
_		32		3	3	3	4	3	5	:	36	3	37	3	8
				SUBOUT No. TS		TS	TS	TS No.4	TS	TS	TS	TS	(予約)		
		(0,1~8)	(0,1~8)	(0,1~8)	No. 1	No.2	No.3	N0.4	No.5	No.6	No.7	No.8			
					•				•						
		39		40		41		42		43		44			
							,								

s	STEP	設定値SV (-19999~30000)		時間[時] (0~999)				ステップリピート (0)開始(FF)無し			警報No. 出力リミットNo. (0,1~8) (0,1~8)		変化量リミットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)		ARW No. (0,1~8)
	4														
-		4	5	4	6	4	.7	4	8		19		50	5	1
		実温度補償No.				TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	(予約)		
		(0,1~8)	(0,1~8)	(0,1~8)	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8			
		52		53		5	4	5	55		56		57		

<u>ステップ毎パ</u>ラメータ 警報No. 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) 時間[時] 設定値SV (-19999~30000) 時間[分] ステップリピート PID No. ARW No. STEP (0~999) (0~59) (0)開始(FF)無し $(0.1 \sim 8)$ (0.1~8) 5 58 59 60 実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8) SUBOUT №. (0,1~8) (予約) TS No.2 TS No.4 TS No.5 TS No.6 66 設定值SV (-19999~30000) ステップリピート (0)開始(FF)無し 警報No. (0,1~8) 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) 時間[分] (0~59) 時間[時] STEP (0~999) (0,1~8) 6 71 72 73 74 75 76 77 実温度補償No. 待時間警報N (予約) SUBOUT No. (0,1~8) (0,1~8) 80 82 設定値SV (-19999~30000) 警報No. (0,1~8) | 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) PID No. STEP (0~999) (0~59) (0)開始(FF)無し (0,1~8) (0,1~8) 7 84 85 86 88 90 87 実温度補償No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) SUBOUT No. (0,1~8) (予約) 92 93 95 91 警報No. (0,1~8) 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) 設定值SV 時間[分] ステップリピート PID No. ARW No. STEP (-19999~30000) (0~59) (0)開始(FF)無し 8 97 98 99 100 101 102 103 実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8) SUBOUT №. (0,1~8) TS TS (予約) No.2 No.3 No.4 No.8 104 105 106 107 108 109

STEP		値SV ~30000)][時] 999)		引[分] ~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し		警報No. (0,1~8)	出力リミットNo. (0,1~8)	変化量リミットNo. (0,1~8)	. 出力プリセットNo (0,1~8)	. センサ補正No. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)
9														
	1	10	1	11	1	12	1	13	1	14	1	15	11	6
	宇泪 麻淋/ ^(*) Mo	待時間警報No.	CUROUT No	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS TS	TS	(予約)		
	美温及補頂NU. (0,1~8)	(0,1~8)	(0,1~8)	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	(アポリ)		
	1	17	1	18	1	19	1:	20	1	21	1	22		

ステッ	プ毎パラメ-	ータ
	設定値SV	

ステッ	プ毎パラメータ		74.005.013				
STEP	設定值SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)	警報No. 出力リミットNo. (0,1~8) (0,1~8)	変化量リミットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8) (0,1~8)
10							
	113	114	115	116	117	118	119
	実温度補償No. 待時間警報No.	SUBOUT No. TS	TS TS	TS TS	TS TS	TS (予約)	
	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) No.1	No.2 No.3	No.4 No.5	No.6 No.7	No.8	
	120	121	122	123	124	125	
	120	121	122	123	124	125	
							I
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)	警報No. 出力リミットNo. (0,1~8)	変化量リミットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8) (0,1~8)
11							
	126	127	128	129	130	131	132
	実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8) (0,1~8)	SUBOUT No. TS (0,1~8) No.1	TS TS No.2 No.3	TS TS No.4 No.5	TS TS No.6 No.7	TS (予約) No.8	
	133	134	135	136	137	138	
STEP	設定值SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート PID No.	警報No. 出力パットNo.	変化量リミットNo. 出力プリセットNo.	センサ補正No. ARW No.
	(-19999~30000)	(0~999)	(0~59)	(0)開始(FF)無し (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)
12	139	140	141	142	143	144	145
	実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT No. TS (0,1~8) No.1	TS TS No.3	TS TS No.4 No.5	TS TS No.6 No.7	TS (予約) No.8	
	(0,1 -0) (0,1 -0)	(0,1 - 0)	140.2	NU.4 NU.3	NO.0 NO.7	NU.U	
	146	147	148	149	150	151	
	設定値SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート PID No.	警報No. 出力パットNo.	変化量リミットNo. 出力プリセットNo.	センサ補正No. ARW No.
STEP	(-19999~30000)	(0~999)	(0~59)	(0)開始(FF)無し (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)
13	450	450	454	455	450	457	450
	152	153	154	155	156	157	158
	実温度補償No. 待時間警報No.		TS TS	TS TS	TS TS	TS (予約)	
	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) No.1	No.2 No.3	No.4 No.5	No.6 No.7	No.8	
	159	160	161	162	163	164	
				<u> </u>]
STEP	設定值SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)	警報No. 出力リミットNo. (0,1~8) (0,1~8)	変化量リミットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8)
14							
-	165	166	167	168	169	170	171
	実温度補償No. 待時間警報No.	SUBOUT No. TS	TS TS	TS TS	TS TS	TS (予約)	
	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) No.1	No.2 No.3	No.4 No.5	No.6 No.7	No.8	
	172	173	174	175	176	177	
				<u> </u>			

ステップ毎パラメータ 警報No. 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) 設定値SV (-19999~30000) 時間[時] 時間[分] ステップリピート PID No. ARW No. STEP (0~999) (0~59) 0)開始(FF)無し $(0.1 \sim 8)$ (0.1~8) 15 178 179 180 184 実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8) SUBOUT №. (0,1~8) (予約) TS No.2 TS No.4 TS No.5 TS No.6 TS No.7 185 186 187 設定值SV (-19999~30000) ステップリピート (0)開始(FF)無し 警報No. (0,1~8) 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) 時間[分] (0~59) 時間[時] STEP (0~999) (0,1~8) (0,1~8) 16 191 192 193 194 195 196 197 実温度補償No. 待時間警報N (0,1~8) (0,1~8) SUBOUT No. (予約) 198 199 200 202 設定値SV (-19999~30000) 警報No. (0,1~8) | 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) 時間[時] PID No. STEP (0~999) (0~59) (0)開始(FF)無し (0,1~8) (0,1~8) 17 204 205 206 207 208 209 210 実温度補償No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) SUBOUT No. (0,1~8) TS No.2 (予約) 212 211 213 214 215 216 警報No. (0,1~8) | 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) 設定值SV 時間[時] 時間[分] ステップリピート PID No. ARW No. STEP (-19999~30000) (0~999) (0~59) (0)開始(FF)無し 18 217 218 219 220 221 222 223 実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8) SUBOUT №. (0,1~8) TS TS TS TS (予約) No.2 No.3 No.4 No.8 224 225 226 227 228 229

STEP		值SV ~30000)	時間 (0~			引[分] ~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し	PID No. (0,1~8)	警報No. (0,1~8)	出力リミットNo. (0,1~8)	変化量リミットNo. (0,1~8)	. 出力プリセットNo (0,1~8)	. センサ補正No. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)
19														
	2:	30	23	31	2	32	23	33	2	34	2	35	23	6
	実温度補償No. (0,1~8)	待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT №. (0,1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
	2:	37	23	38	2	39	24	10	2	<u>1</u> 41	2	242	•	
		·												

【付録】プログラムパターンテーブル(KP3000C)

ステップ共通パラメータ

/		<u> </u>	- , , -							
STE		パターンNo.	(0)SVスタート	ステップ数	PTNリンク先	スタートSV	リセットSV	終了時出力OUT1	終了時出力OUT2	
311	EP	(1~30)	(1)PVスタート	(0~19)	(0~30)	(-19999~30000)	(-19999~30000)	(-50~1050)	(-50 ~ 1050)	
O)		0					0	0	
			0		1	2	3	4	5	── 相対アドレス
							0	0	12.22	

ステップ毎パラメータ

 ハアツ	ノ毋ハ、	ノグージ												
STEP		值SV ~30000)	時間 (0~][分] ·59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し		警報No. (0,1~8)	出力パットNo. (0,1~8)	変化量パットNo. (0,1~8)	出力プリセットNo. (0,1~8)	センサ補正№. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)
1									0	0	0	0	0	0
		6		7		3	g)		10		1	1:	2
										0		0	C)
	実温度補償No. (0,1~8)	待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT №. (0,1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
	0	0	0									0		
	1	3	1	4	1	5	1	6		17	1	8		
	(0												

STEP		值SV ~30000)	時間 (0~][分] -59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し	PID No. (0,1~8)	警報No. (0,1~8)	出力パットNo. (0,1~8)	変化量パットNo. (0,1~8)	出力プリセットNo. (0,1~8)	センサ補正No. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)
2									0	0	0	0	0	0
	1	9	2	0	2	21	2.	2	:	23	2	24	2	5
										0		0	C)
	実温度補償No. (0,1~8)	待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT №. (0,1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
	0	0	0									0		
	2	:6	2	7	2	18	2	9	÷	30	(31]	

STE		定値SV 99~30000)		引[時] ·999)		引[分] ~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し		警報No. (0,1~8)	出力パットNo. (0,1~8)	変化量パットNo. (0,1~8)	出力プリセットNo. (0,1~8)	センサ補正№. (0,1~8)	ARW №. (0,1~8)
3									0	0	0	0	0	0
		32	3	33	3	34	3	5		36	3	37	3	8
										0		0	C)
	実温度補償 (0,1~8		. SUBOUT №. (0,1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
	0	0	0									0		
		39	4	10	4	11	4	2	4	43	4	14		
		0												

	STEP	設定值SV 時間[時] (-19999~30000) (0~999)				ステップリピート (0)開始(FF)無し	PID №. (0,1~8)	警報No. (0,1~8)	出力リミットNo. (0,1~8)	変化量パットNo. (0,1~8)	出力プリセットNo. (0,1~8)	センサ補正No. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)		
	4									0	0	0	0	0	0
_		4	5	4	6	4	.7	4	3	4	19	5	0	5	1
										(0	()	C)
		実温度補償No. (0,1~8)	待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT №. (0,1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
		0	0	0									0		
		5	i2	5	3	5	4	5	5	5	56	5	i7		
		(0												

ステッ	プ毎パラメータ						
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)	警報No. 出力リミットNo. (0,1~8)	変化量リミットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8) (0,1~8)
5				(3)	0 0	0 0	0 0
	58	59	60	61	62	63	64
					0	0	0
	実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT No. TS (0,1~8) No.1	TS TS No.2 No.3	TS TS No.4 No.5	TS TS No.6 No.7	TS (予約) No.8	
	0 0	0				0	
	65	66	67	68	69	70	
	0						_
STEP	設定値SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート PID No.		変化量リミットNo. 出力プリセットNo.	
	(-19999~30000)	(0~999)	(0~59)	(0)開始(FF)無し (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)
6	71	72	73	74	0 0	0 0	0 0
					0	0	0
	実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT No. TS (0,1~8) No.1	TS TS No.2 No.3	TS TS No.4 No.5	TS TS No.6 No.7	TS (予約) No.8	
	0 0	0	190.2	NU.4 NU.5	NU.0 NU.7	0	
	78	79	80	81	82	83	
	0						
	設定値SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート PID No.	敬起Mo 山土III Mo	変化量リミットNo. 出力プリセットNo.	お、井浦正No A DIW No
STEP	(-19999~30000)	(0~999) n4lell[n4]	(0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)	警報No. 出力リミットNo. (0,1~8) (0,1~8)	変化量パットNO. 出力プリセットNO. (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8) (0,1~8)
7					0 0	0 0	0 0
	84	85	86	87	0	0	90 O
	実温度補償No. 待時間警報No.	SUBOUT No. TS	TS TS	TS TS	TS TS	TS (予約)	U
	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) No.1	No.2 No.3	No.4 No.5	No.6 No.7	No.8	
	0 0	92	93	94	95	96	
	0						
					l		<u> </u>
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)	警報No. 出力リミットNo. (0,1~8) (0,1~8)	変化量パットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8) (0,1~8)
8					0 0	0 0	0 0
•	97	98	99	100	101	102	103
	実温度補償No. 待時間警報No.	SUBOUT No. TS	TS TS	TS TS	0 TS TS	0 TS (予約)	0
	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) No.1	No.2 No.3	No.4 No.5	No.6 No.7	No.8	
	0 0	0				0	
	104 O	105	106	107	108	109	
	0						
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)	警報No. 出力リミットNo. (0,1~8)	変化量パットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8) (0,1~8)
9				(1,1,0)	0 0	0 0	0 0
	110	111	112	113	114	115	116
					0	0	0
	実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8) (0,1~8)	SUBOUT No. TS (0,1~8) No.1	TS TS No.2 No.3	TS TS No.4 No.5	TS TS No.6 No.7	TS (予約) No.8	
	0 0	0				0	
	117	118	119	120	121	122	

0

ステッ	プ毎パラメータ						
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)	警報No. 出力パットNo. (0,1~8)	変化量リミットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8) (0,1~8)
10					0 0	0 0	0 0
	113	114	115	116	117	118	119
					0	0	0
	実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT No. TS (0,1~8) No.1	TS TS No.2 No.3	TS TS No.4 No.5	TS TS No.7	TS (予約) No.8	
	0 0	0				0	
	120	121	122	123	124	125	
	0						
STEP	設定値SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート PID No.	警報No. 出力パットNo.	変化量リミットNo. 出力プリセットNo.	
-	(-19999~30000)	(0~999)	(0~59)	(0)開始(FF)無し (0,1~8)	0 0	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)
11	126	127	128	129	0 0	0 0	132
					0	0	0
	実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT No. TS (0,1~8) No.1	TS TS No.2 No.3	TS TS No.4 No.5	TS TS No.6 No.7	TS (予約) No.8	
	0 0	0 No.1	N0.2 N0.3	N0.4 N0.5	N0.6 N0.7	N0.8	
	133	134	135	136	137	138	
	0						
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)	警報No. 出力リミットNo. (0,1~8) (0,1~8)	変化量パットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8) (0,1~8)
12					0 0	0 0	0 0
	139	140	141	142	143	144	145
	実温度補償No. 待時間警報No.	SUBOUT No. TS	TS TS	TS TS	TS TS	0 TS (予約)	0
	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) No.1	No.2 No.3	No.4 No.5	No.6 No.7	No.8	
	0 0	0				0	
	146 O	147	148	149	150	151	
	U						
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート PID No. (0)開始(FF)無し (0,1~8)		変化量リミットNo. 出力プリセットNo. (0,1~8) (0,1~8)	センサ補正No. ARW No. (0,1~8) (0,1~8)
13	(-1999930000)	(0.4.999)	(039)	(U)用如(FF)無U (U,1~8)	0 0	0 0	0 0
	152	153	154	155	156	157	158
					0	0	0
	実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT No. TS (0,1~8) No.1	TS TS No.2 No.3	TS TS No.4 No.5	TS TS No.6 No.7	TS (予約) No.8	
	0 0	0				0	
	159	160	161	162	163	164	
	0						
	設定値SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート PID No.	警報No. 出力パットNo.	変化量リミットNa. 出力プリセットNa.	センサ補正No. ARW No.
STEP	(−19999~30000)	(0~999)	(0~59)	(0)開始(FF)無し (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) (0,1~8)
14	165	166	167	168	0 0	0 0	0 0
	100	100	107	100	0	0	0
	実温度補償No. 待時間警報No.		TS TS	TS TS	TS TS	TS (予約)	
	(0,1~8) (0,1~8)	(0,1~8) N _{0.1}	No.2 No.3	No.4 No.5	No.6 No.7	No.8	
	0 0	173	174	175	176	177	
	0	· -					

ステップ毎パラメータ 設定値SV (-19999~30000) 時間[時] (0~999) 警報No. 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) 時間[分] (0~59) ステップリピート (0)開始(FF)無し PID No. ARW No. STEP 実温度補償No. (0,1~8) (0,1~8) SUBOUT No. (0,1~8) TS No.2 TS No.4 (予約) 設定値SV (-19999~30000) 時間[時] (0~999) 時間[分] (0~59) ステップリピート (0)開始(FF)無し PID No. (0,1~8) 警報No. 出力リミットNo. 変化量リミットNo. 出力プリセットNo. センサ補正No. (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) (0,1~8) STEP (0,1~8) 実温度補償No. 待時間警報No. (0,1~8) SUBOUT No. (予約) (0,1~8)

	STEP	設定値SV 時間[時] (-19999~30000) (0~999)					ステップリピート (0)開始(FF)無し		警報No. (0,1~8)	出力リミットNo. (0,1~8)	変化量リミットNo. (0,1~8)	出力プリセットNo. (0,1~8)	センサ補正No. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)	
	17									0	0	0	0	0	0
_		20	04	20)5	20	06	20	07	2	08	2	09	21	0
										(0	(0	C)
		実温度補償No. (0.1~8)	待時間警報No. (0.1~8)	SUBOUT №. (0.1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
		0	0	0									0		
		2	11	21	12	2	13	21	14	2	15	2	16		
		(0												

ST	EP		值SV ~30000)	時間 (0~		時間 (0~		ステップリピート (0)開始(FF)無し	PID No. (0,1~8)	警報No. (0,1~8)	出力リミットNo. (0,1~8)	変化量パットNo. (0,1~8)	出力プリセットNo. (0,1~8)	センサ補正No. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)
1	8									0	0	0	0	0	0
		2	17	21	18	2	19	22	20	2	21	2	22	22	23
											0		0	()
		実温度補償No. (0,1~8)	待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT №. (0,1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
		0	0	0									0		
		2:	24	22	25	2:	26	22	27	2	28	2	29		
		(כ												

STEP		值SV ~30000)	時間 (0~][分] ~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し	PID No. (0,1~8)	警報No. (0,1~8)	出力リミットNo. (0,1~8)	変化量リミットNo. (0,1~8)	出力プリセットNo. (0,1~8)	センサ補正No. (0,1~8)	ARW No. (0,1~8)
19									0	0	0	0	0	0
	23	30	23	31	2	32	23	13	2	34	2	35	23	16
										0		0	C)
	実温度補償No. (0,1~8)	待時間警報No. (0,1~8)	SUBOUT №. (0,1~8)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	(予約)		
	0	0	0									0		
	23	37	23	38	2	39	24	Ю	2	41	2	42]	
	(0												

【付録】 プログラムパターンテーブル(DP1000G/DP2000G)

【作	†録】プロ⊄	グラムパター	-ンテーブル	√(DP1000C	G/DP2000G)
ステッ	プ共 <u>通パラメーク</u> パターンNo. (0)SVスタート		スタートSV	リセットSV	▼終了時OUT1 終了時OUT2	終了時出力値OUT1
STEP	(1~200) (1)PVスタート		(-19999~30000)	(−19999 ~ 30000)	(0)制御(1)停止 (0)制御(1)停止	※1時出力値UUTT (-50~1050)
0						
	0	1	2	3	4	5
	終了時出力OUT2					
	(-50 ~ 1050)	-				相対アドレス
	6	-				
		1				
マテッ	L プ毎パラメータ	1				
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数	PID 警報 出力 変化量 (1) (1) リミット(1) リミット(1)	PID 警報 出力 変化量 (2) (2) リミット(2) リミット(2)
1	(10000	(0 000)	(0 00)	TO THE COURT OF THE SECOND SEC	(1) (1) (2)((1) (2)((1)	(2) (2) (3)((2)
	7	8	9	10	11	12
	センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No.	No.1 No.2 No.3 No.4	TS TS TS TS No.5 No.6 No.7 No.8	TS TS TS TS No.9 No.10 No.11 No.12	TS TS TS TS No.13 No.14 No.15 No.16	TS TS (予約)(予約) No.17 No.18
	13	14	15	16	17	18
STEP	設定値SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数	PID 警報 出力 変化量	
2	(-19999~30000)	(0~999)	(0~59)	(U)開始(FF)無し(T~99)リピート回数	(1) (1) リミット(1) リミット(1)	(2) (2) J\(\frac{1}{2}\)\ \J\(\frac{1}{2}\)\ \J\(\frac{1}{2}\)\ \J\(\frac{1}{2}\)\
	19	20	21	22	23	24
	センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No.	No.1 No.2 No.3 No.4	TS TS TS TS No.5 No.6 No.7 No.8	TS TS TS TS No.9 No.10 No.11 No.12	TS TS TS TS No.13 No.14 No.15 No.16	TS TS (予約)(予約) No.17 No.18
	25	26	27	28	29	30
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数	PID 警報 出力 変化量 (1) (1) リミット(1) リミット(1)	PID 警報 出力 変化量 (2) (2) リミット(2) リミット(2)
3	30000,	(0 000)	(5 55)			(2) (3)((2)
	31	32	33	34	35	36
	センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No.	TS TS TS TS TS No.1 No.2 No.3 No.4	TS TS TS TS No.5 No.6 No.7 No.8	TS TS TS TS No.9 No.10 No.11 No.12	TS TS TS TS No.13 No.14 No.15 No.16	TS TS (予約) (予約) No.17 No.18
	37	38	39	40	41	42
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数	PID 警報 出力 変化量 (1) (1) リミット(1) リミット(1)	PID 警報 出力 変化量 (2) (2) リミット(2) リミット(2)
4		ζ. 137				77,110/72/10/
	43	44	45	46	47	48
	センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No.	TS	TS TS TS TS No.5 No.6 No.7 No.8	TS TS TS TS No.9 No.10 No.11 No.12	TS TS TS TS TS No.13 No.14 No.15 No.16	TS TS (予約)(予約) No.17 No.18
	49	50	51	52	53	54

ステップ毎パラメータ 時間[時] 時間[分] ステップリピート 警報 出力 変化量 PID 警報 出力 変化量 STEP (-19999~30000) (0~999) (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数 5 55 56 57 58 60 59 センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No. TS TS No.10 No.11 TS TS TS No.13 No.14 No.15 TS (予約)(予約) No.2 No.18 No.1 No.3 Nn 4 No.6 No.7 No.8 No.9 63 64 62 65 設定値SV 時間[時] 時間[分] ステップリピート PID 警報 出力 変化量 PID 警報 出力 変化量 STEP (-19999~30000) (0~999) (0~59) (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数 (1) (1) 6 67 68 69 70 センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No. TS TS No.10 No.11 TS TS TS No.13 No.14 No.15 TS TS TS TS TS (予約)(予約) No.2 No.17 No.18 No.1 No.3 No.4 No.5 No.6 No.7 No.8 No.9 No.12 No.16
 PID
 警報
 出力
 変化量
 PID
 警報
 出力
 変化量

 (1)
 (1)
 リミット(1)
 リミット(1)
 (2)
 リミット(2)
 リミット(2)
 リミット(2)
 設定値SV 時間[時] 時間[分] ステップリピート STEP (-19999~30000) (0~999) (0~59) (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数 7 79 80 81 82 84 83 センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No. TS No.2 TS No.4 TS TS No.10 No.11 TS No.13 TS No.14 TS No.17 TS (予約)(予約) No.18 TS TS TS TS TS No 15 No 1 No 3 No 5 No 6 No 7 Nn 8 Nn 9 No 12 No 16 87
 PID
 警報
 出力
 変化量
 PID
 警報
 出力
 変化量

 (1)
 (1)
 リミット(1)
 リミット(1)
 (2)
 (2)
 リミット(2)
 リミット(2)
 設定值SV 時間[時] 時間[分] ステップリピート STEP (-19999~30000) (0~999) $(0 \sim 59)$ (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数 (2) 8 92 93 94 91 95 センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No. TS TS No.10 No.11 TS No.13 TS No.14 TS TS TS TS TS (予約)(予約) No.12 Nn 2 Nn 4 No 15 No 16 No 17 No 18 No 1 No 3 No 6 No 7 No.8 Nn 9 100
 PID
 警報
 出力
 変化量
 PID
 警報
 出力
 変化量

 (1)
 (1)
 リミット(1)
 リミット(1)
 (2)
 (2)
 リミット(2)
 リミット(2)
 リミット(2)
 設定値SV 時間[時] 時間[分] ステップリピート STEP (-19999~30000) (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数 (0~999) (0~59) 9 103 104 105 106 108 107 センサ 実温度 待時間 (予約 補正No. 補償No. 警報No. TS No.4 TS TS TS TS TS TS TS TS (予約)(予約) No.10 No.11 No.2 No.13 No.14 No.17 No.18 No.3 No.15 No.1 No.5 No.6 No.7 No.8 No.9 No.12 No.16 109 110 111 112 113 114

ステッ	プ毎パラメータ					
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数	PID 警報 出力 変化量 (1) (1) リミット(1) リミット(1)	PID 警報 出力 変化量 (2) (2) リミット(2) リミット(2)
	(10000 00000)	(0 000)	(0.00)	Complete Comments of the Comme	(1) (1) (2)(1)	
		1	2	3	4	5
	センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No.	TS TS TS TS No.1 No.2 No.3 No.4	TS TS TS TS No.5 No.6 No.7 No.8	TS TS TS TS No.9 No.10 No.11 No.12	TS TS TS TS No.13 No.14 No.15 No.16	TS TS (予約)(予約) No.17 No.18
	In It is in Since Service	NU.1 NU.2 NU.5 NU.4	NU.0 NU.0 NU.7 NU.0	10.3 10.10 10.11 10.12	NO.10 NO.14 NO.10 NO.10	10.17
	6	7	8	9	10	11
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数	PID 警報 出力 変化量 (1) (1) リミット(1) リミット(1)	PID 警報 出力 変化量 (2) (2) リミット(2) リミット(2)
	12	13	14	15	16	17
	センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No.	TS TS TS TS No.1 No.2 No.3 No.4	TS TS TS TS No.5 No.6 No.7 No.8	TS TS TS TS No.9 No.10 No.11 No.12	TS TS TS TS No.13 No.14 No.15 No.16	TS TS (予約) (予約) No.17 No.18
	18	19	20	21	22	23
	設定値SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート	DID 数 世 山上 木 // 目	DID 20 +1 1 + + 1 1
STEP	改た但5V (−19999~30000)	(0~999)	時间[77] (0~59)	ステップリピート (0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数	PID 警報 出力 変化量 (1) (1) リジット(1) リジット(1) リジット(1)	PID 警報 出力 変化量 (2) (2) リミット(2) リミット(2)
	24	25	26	27	28	29
	1. U 096 (the 12 (7 (t))	T0 T0 T0 T0	T0 T0 T0	T0 T0 T0 T0	T0 T0 T0 T0	TO TO (77 (b) (77 (b)
	センサ 実温度 待時間 (予約) 補正No. 補償No. 警報No.	TS TS TS TS No.1 No.2 No.3 No.4	TS TS TS TS No.5 No.6 No.7 No.8	TS TS TS TS No.9 No.10 No.11 No.12	TS TS TS TS No.13 No.14 No.15 No.16	TS TS (予約) (予約) No.17 No.18
	30	31	32	33	34	35
STEP	設定値SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート	PID 警報 出力 変化量	PID 警報 出力 変化量
SIEP	(-19999 ~ 30000)	(0~999)	(0~59)	(0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数	(1) (1) リミット(1) リミット(1)	(2) (2) Jミット(2) Jミット(2)
	26	27	20	20	40	
	36	37	38	39	40	41
	センサ 実温度 待時間 (予約)	TS TS TS TS	TS TS TS TS	TS TS TS TS	TS TS TS TS	TS TS (予約)(予約)
	補正No. 補償No. 警報No.	No.1 No.2 No.3 No.4	No.5 No.6 No.7 No.8	No.9 No.10 No.11 No.12		No.17 No.18
	42	43	44	45	46	47
STEP	設定値SV	時間[時]	時間[分]	ステップリピート	PID 警報 出力 変化量	PID 警報 出力 変化量
	(-19999~30000)	(0~999)	(0~59)	(0)開始(FF)無し(1~99)リピート回数	(1) (1) リミット(1) リミット(1)	(2) (2) J\(\frac{1}{2}\pi^k(2)\) J\(\frac{1}{2}\pi^k(2)\)
	48	49	50	51	52	53
	センサ 実温度 待時間 (予約)	TS TS TS TS	TS TS TS TS	TS TS TS TS	TS TS TS TS	TS TS (予約) (予約)
	補正No. 補償No. 警報No.	No.1 No.2 No.3 No.4	No.5 No.6 No.7 No.8	No.9 No.10 No.11 No.12	No.13 No.14 No.15 No.16	No.17 No.18
	54	55	56	57	58	59
	34	33	30	37	30	55

【作	计 録		プ		ブラ	人	/ ^	ター	-ン	テ	ー ラ	゛ル	/ ([)P(300	00G	i)							
ステッ	プ共	通バ	パラメ	〜 5	Z																			
STEP	パタ- (1~		(0)SVZ (1)PVZ	スタート スタート		ップ数 ·199)		lンク先 ·200)	(-		−トSV ~30000))	(リセッ -19999-	√FSV ~30000))		FOUT1 (1)停止			終		力値OL ~1050)	IT1
0			()													()	(0			0	
		Ö					1				2				3			(4 Դ				5 0	
	彩	§了時出	力OUT	2														,	J				J	
		(-50~	1050)																			相交	アド	レス
		6																						
		C																						
7 -				h																				
ステッ STEP		設定	直SV				引[時]				『[分]			ステップ			PID	警報	出力		PID	警報		変化量
1	(-	-19999^	~30000))		(0~	999)			(0~	~59)		(0)開始(FF)無し(1	~99)√E	一卜回数	0	0	<u>U</u> \(\frac{1}{2}\)	リミット(1) O	0	0	リミット(2) O	リミット(2) O
		7					8			!	9			1	0			_	1	0		Ŭ	2	
																		()				0	
		実温度 補償No.		(予約)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0																			0	0
		1;	3			1	14			1	15			1	6			1	7			1	8	
		C)		_					_				_	_			_	_					_
		設定(直SV			時間	[時]			時間	引[分]			ステップ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	•	PID	警報	出力	変化量	PID	警報	出力	変化量
STEP	(-	-19999))			999)				~ 59)			FF)無し(1			(1)	(1)	リミット(1)	リミット(1)	(2)	(2)	リミット(2)	リミット(2)
2	19						20			2	21			2	2		0	0	3	0	0	0	0	0
														_	_)				0	
		実温度 補償No.	待時間 警報No.	(予約)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0	140.1	140.2	140.0	110.7	140.0	140.0	140.7	110.0	140.5	140.10	140.11	140.12	140.10	140.14	140.13	140.10	140.17	140.10	0	0
		2	5			2	26			2	27			2	8			2	9			3	30	
		C)																					
		設定	直SV			時間	引[時]			時間	『[分]			ステップ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	,	PID	警報	出力	変化量	PID	警報	出力	変化量
STEP	(-	-19999))			999)				-59)			FF)無し(1			(1)	(1)	リミット(1)	リミット(1)	(2)	(2)	リミット(2)	リミット(2)
3		3	1			<u> </u>	32			3	33			3	4		0	0	0	0	0	0	0	0
)				0	
		実温度 補償No.		(予約)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	4# <u>ΙΕΙΝ</u> υ.	TĦI良NU.	E FRING	0	INU. I	INU.Z	140.3	140.4	140.5	NU.O	INU. 7	INU.O	140.9	NU. 10	140.11	190.12	140.13	110.14	NO.15	140.10	NU. 17	INU. I O	0	0
		3	-			3	38			3	39			4	0			4	1			2	12	
		C)																					
STEP	(-	設定(-19999 <i>-</i>))			引[時] ·999)				引[分] ~59)			ステップ FF)無し(1			PID (1)	警報 (1)	出力 (5ット(1)	変化量 (ドット(1)	PID (2)	警報 (2)		変化量 リミット(2)
4	(-19999~30000)														0	0	0	0	0	0	0	0		
		43	3			4	14			4	15			4	6			4	7			4	18	
	hr. II	由海土「	4+ p+ pp	(3 %	T.C.	T C	TC	l TC	T.C.	T.C.	TO .	TC	T.0	T.C.	TO	T 0	T.C.)	TO	T.0) /~~	/ 3 //->
		実温度 補償No.	待時間 警報No.	(才約)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0																			0	0

49

ステッ	プ毎	ر ا	ラメー	-タ																				
STEP		設定	值SV ~3000				引[時] ·999)][分] -59)				゚゚リピート ~99)リピ		PID (1)	警報 (1)		変化量 リミット(1)	PID (2)	警報 (2)	出力 リミット(2)	変化量 パット(2)
5																	0	0	0	0	0	0	0	0
		ţ	55			Ę	56			5	i7			5	8				59			6	0	
		+ 10 +	1 (± =± nn	Law															0			((- (1)
			待時間 警報No.		TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0																			0	0
			0			6	62			6	i3			6	4			6	35			6	6	
		'	<u> </u>																					
STEP	(值SV ~3000	0)			引[時] ·999)][分] -59)				゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚		PID (1)	警報 (1)	出力 (5ット(1)		PID (2)	警報 (2)	出力 リミット(2)	変化量 リミット(2)
6																	0	0	0	0	0	0	0	0
		(67			6	88			6	i9			7	0			7	71			7	2	
																			0			(
	センサ 補正No.		待時間 警報No.	(予約)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0																			0	0
			⁷³			7	74			7	'5			7	6			7	17			7	8	
		'																						
STEP	(值SV ~3000	0)			引[時] ·999)][分] -59)				「リピート ~99)リビ		PID (1)	警報 (1)	出力 リミット(1)	変化量 リミット(1)	PID (2)	警報 (2)	出力 リミット(2)	変化量 パット(2)
7																	0	0	0	0	0	0	0	0
	79					8	30			8	31			8	2				33			8		
			/+ n+ BB	(7 /L)	70	70		70	70	70	70	70	70	70	70	70	70		0		70	((7 %L)
	センサ 補正No.	美温度 補償No.		(予約)	TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0																			0	0
			0			3	36			8	37			8	8			8	39			9	0	
		·	<u> </u>																					
STEP	(值SV ~3000	0)			引[時] ·999)][分] -59)				「リピート ~99)リビ		PID (1)	警報 (1)		変化量 リミット(1)	PID (2)	警報 (2)	出力 リミット(2)	変化量 パット(2)
8																	0	0	0	0	0	0	0	0
		Ç	91			ę	92			9	13			ç	4			9	95			9	6	
																			0			(
			待時間 警報No.		TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0																			0	0
			97 O			ç	98			9	19			10	00			10	01			10)2	
		'																						
STEP	(值SV ~3000	0)			引[時] ·999)][分] ~59)				゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚		PID (1)	警報 (1)	出力		PID (2)	警報 (2)	出力 リミット(2)	変化量 リミット(2)
9																	0	0	0	0	0	0	0	0
		1	03			1	04			10	05			1	06				07			10		
	センサ 実温度 待時間 (予約) TS			I =-												0			(/ = /:			
			待時間 警報No.		TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0																			0	0
			09 N			1	10			1	11			1	12			1	13			11	4	\dashv
	0																							

ステッ	プ毎	/ % =	ラメー	-タ																				
STEP		設定	值SV ~3000				引[時] ·999)				引[分] ~59)			ステッフ FF)無し(1			PID (1)	警報 (1)		変化量 リミット(1)	PID (2)	警報 (2)	出力 リミット(2)	変化量 リミット(2)
																	0	0	0	0	0	0	0	0
							1				2			;	3				4			5		
	للد دما	中温库	(土n土88	(マ幼)	TC	TC	TC	TC	TC	TC	TC	TC	TC	TO	TO	TC	TC)	TC	TC	<u></u>		/ 又 45\
			待時間 警報No.		TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0																			0	0
			6 0				7				8				9			1	0			1	1	
STEP	(-		i值SV ~3000	0)][時] 999)				引[分] ~59)			ステッフ FF)無し(1			PID (1)	警報 (1)	出力 リミット(1)		PID (2)	警報 (2)	出力 リミット(2)	変化量 パット(2)
																	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	12			1	3			1	4			1	5				6			1		
	الله دما	宝田本	待時間	(Z4L)	TS	TO	TO	TO	TO	TO	TO	TS	TS	TO	TO	TS	TS	TS)	TS	TS	((予約)	(又化)
	ゼンザ 補正No.		待時间 警報No.	(予約)	No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	No.8	No.9	TS No.10	TS No.11		No.13	No.14	TS No.15			TS No.18	(才利)	(予約)
	0	0	0	0			9				20			,	:1				22			2	0	0
			0				9				20				.1				.2				3	
STEP	(-		i值SV ~3000	0)][時] 999)				『[分] ~59)			ステッフ FF)無し(1			PID (1)	警報 (1)	出力 リミット(1)		PID (2)	警報 (2)	出力 リミット(2)	
	24																0	0	0	0	0	0	0	0
	24				2	!5			2	26			2	7))			2			
	センサ	実温度	待時間	(予約)	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS		(予約)	(予約)
	補正No.	補償No.	警報No.		No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18		
	0	0	30	0		3	1			3	32			3	3			3	34			3	0	0
			0																					
						-1.0									00									
STEP	(-		i值SV ~3000	0)][時] 999)				引[分] ~59)			ステッフ FF)無し(1			PID (1)	警報 (1)		変化量 パット(1)	PID (2)	警報 (2)	出力 リミット(2)	
																	0	0	0	0	0	0	0	0
		- 3	36			3	17			3	38			3	9))			4		
			待時間		TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	TS	(予約)	(予約)
	補正No.	補償No.	警報No.	0	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13	No.14	No.15	No.16	No.17	No.18	0	0
	0		42	0		4	-3			4	14			4	.5			4	16			4	_	U
		(0																					
STEP		設定	值SV			時間][時]			時間][分]			ステッフ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚	,	PID	警報	出力	変化量	PID	警報	出力	変化量
SIEP	(-	-19999	~3000	0)		(0~	999)			(0~	- 59)		(0)開始(FF)無し(1	~99)リビ	一卜回数	(1)	(1)	リミット(1)		(2)	(2)	リミット(2) O	リミット(2) 0
	48					19			5	50			5	1		0	0	0	U	0	5	Ŭ	U	
															()			C)				
			待時間 警報No.		TS No.1	TS No.2	TS No.3	TS No.4	TS No.5	TS No.6	TS No.7	TS No.8	TS No.9	TS No.10	TS No.11	TS No.12	TS No.13	TS No.14	TS No.15	TS No.16	TS No.17	TS No.18	(予約)	(予約)
	0	0	0	0																			0	0
			54			Ę	5			5	56	i		5	7	i		5	i8	1		5	9	
	0																							

【付録】 プログラムパターンテーブル(DB600)

ステップ共通	パラメータ
ハノノス畑	ノトノン ブ

	<u> </u>							
STEP	パターンNo.	(0)SVスタート	ステップ 数	PTNリンク先	スタートSV	リセットSV	終了時出力OUT1	終了時出力OUT2
SIEF	(1~30)	(1)PVスタート	(0~12)	(0~4)	(-19999~30000)	(-19999~30000)	(-50~1050)	(-50 ~ 1050)
0								
		0		1	2	3	4	5
	1							

ステップ毎パラメータ

<u> </u>	ノ毋ハフメーダ				
STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
1	()))	(2 223)	(13)	(3). 2)	
	6	7	8		9

STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
2					
	10	11	12	1	3

STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
3					
	14	15	16	1	7

STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
4					
	18	19	20	2	1

設定値SV (−19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
22	23	24	2	5
_				
	(-19999~30000)	(-19999~30000) (0~999)	(-19999~30000) (0~999) (0~59)	(-19999~30000) (0~999) (0~59) (0.1~8)

STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
6					
	26	27	28	2	9

STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
7					
-	30	31	32	3	13

STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
8					
	34	35	36	3	7

ステップ毎パラメータ

設定値SV (=19999~30000)	時間[時]	時間[分]	実行No.	(予約)
(13333 -30000)	(0 - 339)	(0 - 33)	(0,11-0)	
38	39	40	4	1
	(-19999~30000)	(-19999~30000) (0~999)	(-19999~30000) (0~999) (0~59)	(-19999~30000) (0~999) (0~59) (0,1~8)

STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
10					
	42	43	44	4	15

STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (0,1~8)	(予約)
11					
	46	47	48	4	9

STEP	設定値SV (-19999~30000)	時間[時] (0~999)	時間[分] (0~59)	実行No. (予約) (0,1~8)
12				
	50	51	52	53



本社·技術開発センター 〒173-8632 東京都板橋区熊野町 32-8 TEL (03) 3956-2111 (大代) FAX (03) 3956-6762

東京支店 〒173-8632 東京都板橋区熊野町 32-8

TEL(03)3956-2205(代) FAX(03)3956-2477

東京営業所 〒173-8632 東京都板橋区熊野町 32-8

TEL(03)3956-2401(代) FAX(03)3956-2477

立川営業所 〒190-0023 立川市柴崎町 3-11-4(千代田生命立川ビル)

TEL(042)521-3081(代) FAX(042)521-3082

千葉営業所 〒260-0016 千葉市中央区栄町42-11(日本企業会館) TEL(043)224-8371(代) FAX(043)227-5131

横浜営業所 〒221-0052 横浜市神奈川区栄町5-1(横浜クリエーションスクェア)

TEL(045)440-3171(代) FAX(045)461-4657

厚木営業所 〒243-0018 厚木市中町 3-15-4(厚木Nビル)

TEL(046)295-9100(代) FAX(046)295-9105

北部支店 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町 2-81(いちご大宮ビル)

TEL(048)643-4641(代) FAX(048)643-3687

大宮営業所 〒330-0802 さいたま市大宮区宮町 2-81(いちご大宮ビル) TEL(048)643-4641(代) FAX(048)643-3687

札幌営業所 〒060-0807 札幌市北区北七条西 2-20(東京建物札幌ビル)

TEL(011)757-9141(代) FAX(011)758-8727

仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町2丁目2-3(鹿島広業ビル)

TEL(022)227-0581(代) FAX(022)227-0583 新潟営業所 〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-30(第3マルカビル)

TEL(025)243-2191(代) FAX(025)243-7619

高崎営業所 〒375-8505 群馬県藤岡市森1

TEL(0274)42-6611(代) FAX(0274)42-2140

水戸営業所 〒310-0011 水戸市三の丸1-4-73(水戸三井ビル) TEL(029)224-9151(代) FAX(029)231-5576

海外事業統括部 〒173-8632 東京都板橋区熊野町 32-8

TEL(03)3956-2171 FAX(03)3956-0915

民生機器営業部 〒173-8632 東京都板橋区熊野町 32-8

TEL(03)3956-2131 FAX(03)3956-8767

大阪支店 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-101(大同生命江坂ビル) TEL(06)6385-7031(代) FAX(06)6386-7202

大阪営業所 〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 1-23-101(大同生命江坂ビル)

TEL(06)6385-7031(代) FAX(06)6386-7202

大津営業所 〒520-0043 大津市中央 3-1-8(大津第一生命ビル) TEL(077)526-2781(代) FAX(077)526-4549

岡山営業所 〒700-0984 岡山市北区桑田町 18-28(明治安田生命岡山桑田町ビル)

TEL(086)223-2651(代) FAX(086)223-1525

高松営業所 〒760-0023 高松市寿町2-2-10(高松寿町プライムビル) TEL(087)822-5531(代) FAX(087)822-0016

広島営業所 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(住友生命広島ビル) TEL(082)261-4231(代) FAX(082)264-2377

福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 1-15-20(NOF博多駅前ビル)

TEL(092)481-1951(代) FAX(092)481-1954

福岡営業所 〒802-0081 北九州市小倉北区紺屋町 13-1(毎日西部会館ビル) 北九州分室 TEL(093)531-2081(代) FAX(093)521-2984

名古屋支店 〒450-0001 名古屋市中村区那古野 1-47-1(名古屋国際センタ-ビル)

TEL(052)581-7595(代) FAX(052)561-2683

名古屋営業所〒450-0001 名古屋市中村区那古野 1-47-1(名古屋国際センタ-ビル)

TEL(052)581-7595(代) FAX(052)561-2683

静岡営業所 〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12(静岡安藤ハザマビル)

TEL(054)255-6136(代) FAX(054)255-6137

富山営業所 〒930-0004 富山市桜橋通り2-25(第一生命ビル) TEL(076)441-2096(代) FAX(076)441-2098

藤岡事業所 〒375-8505 群馬県藤岡市森1

TEL(0274)42-2111(代) FAX(0274)42-2115

久喜事業所 〒346-0028 埼玉県久喜市河原井町 18(久喜菖蒲工業団地 4-2 号)

TEL(0480)23-2511(代) FAX(0480)23-2514

山形事業所 〒994-0002 山形県天童市大字乱川 1515

TEL(023)607-2100(代) FAX(023)652-0171

製品に関するお問い合わせは

コールセンター(お客様製品相談室) 0120-41-2070

携帯電話からも無料でご利用いただけます。

または最寄りの支店・営業所、代理店までご連絡ください。

※お問い合わせ時は形式コードと製造番号をお手元にご用意ください。

【受付時間】月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)9:00~12:00/13:00~17:00